

東北自動車道
松ノ木沢橋他 1 橋補修工事

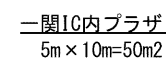
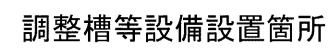
設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社 東北支社
北上管理事務所

目 次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	位置図		
松ノ木沢橋		岩堰橋	
1	松ノ木沢橋数量総括表	1	岩堰橋数量総括表
2	補修一般図	2	補修一般図
3 ～ 4	当て板補修工図(1)、(2)	3	当て板補修工図
5 ～ 6	下部工補修工図(1)、(2)	4 ～ 5	支承部補修工図(1)、(2)
7 ～ 8	支承部補修工図(1)、(2)	6	排水装置取替図
9 ～ 11	検査路取替一般図(1)～(3)	7	検査路取替一般図
12	検査路撤去再設置一般図		
13	排水管撤去再設置一般図	交通規制工	
		1	交通規制図



東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	位置図		
縮 尺	-	図面番号	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

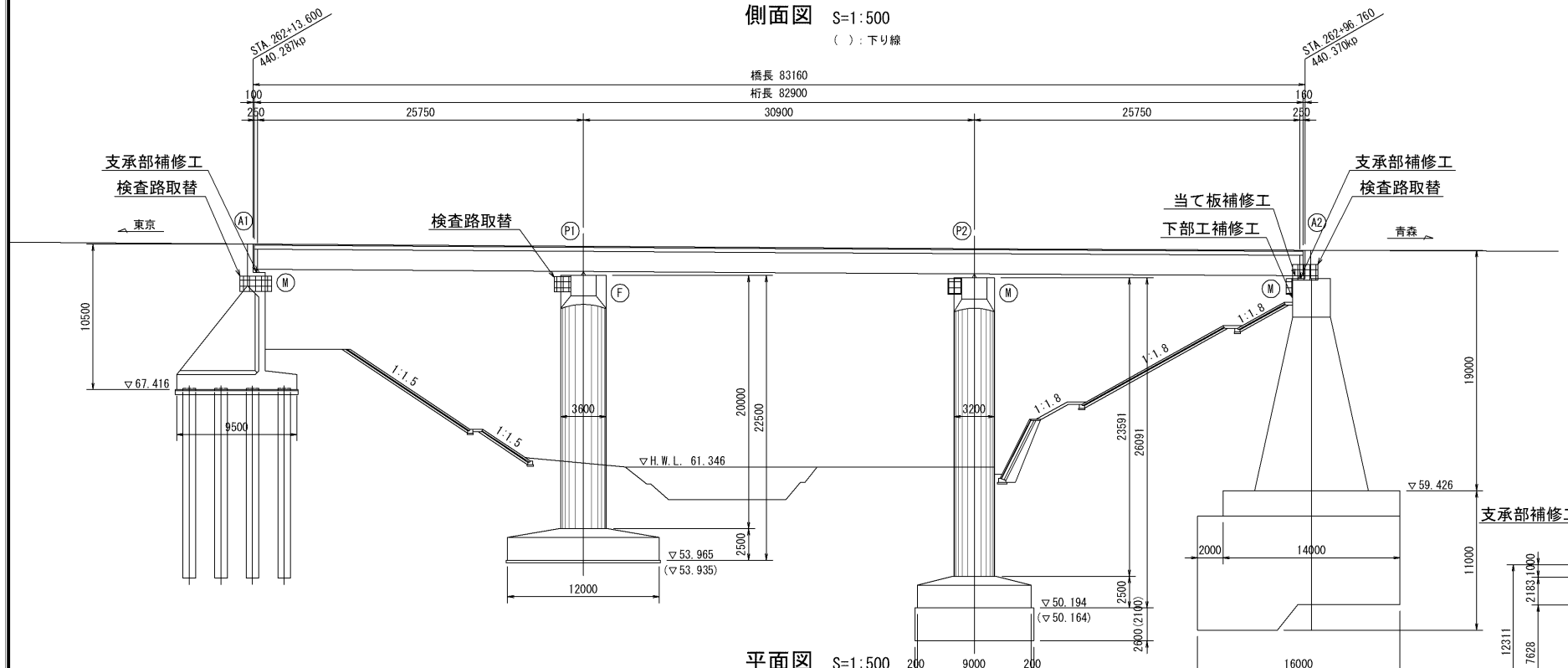
松ノ木沢橋
設 計 図

項 目	単価名称	単位	上部工						下部工								合計	備考
			A1～P1		P1～P2		P2～A2		A1橋台		P1橋脚		P2橋脚		A2橋台			
			上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線		
断面修復工	B2-1(狭隘部)(A)	L													29.0	29.0		
断面修復工	B2-2(狭隘部)(A)	L													144.0	144.0		
断面修復工	B3-2(A)	L													1944.0	1944.0		
断面修復工	B3-2(狭隘部)(A)	L													165.0	165.0		
断面修復工	B3-5(狭隘部)(A)	L													671.0	671.0		
表面保護工	コンクリート表面被覆工(A)	m2													11.2	25.3	36.5	
検査路撤去再設置工	検査路B	t													0.855	0.855		
コンクリートはつり工	A(A)	m3													1.944	1.944		
コンクリートはつり工	A(狭隘部)(A)	m3													0.671	0.338	1.009	
支承部補修工	支承防錆 A	基							4.0	4.0					4.0	4.0	16.0	
支承部補修工	沓座モルタル	箇所							4.0	4.0					4.0	4.0	16.0	
検査路取替	検査路B	kg							30.8	30.8		109.9			30.8	115.8	318.1	
撤去再設置工	排水管A	m													1.9	1.7	3.6	
当て板補修工	A	kg						182.8									182.8	
コンクリート塩分量調査	試料採取工A	箇所													2.0	3.0	5.0	

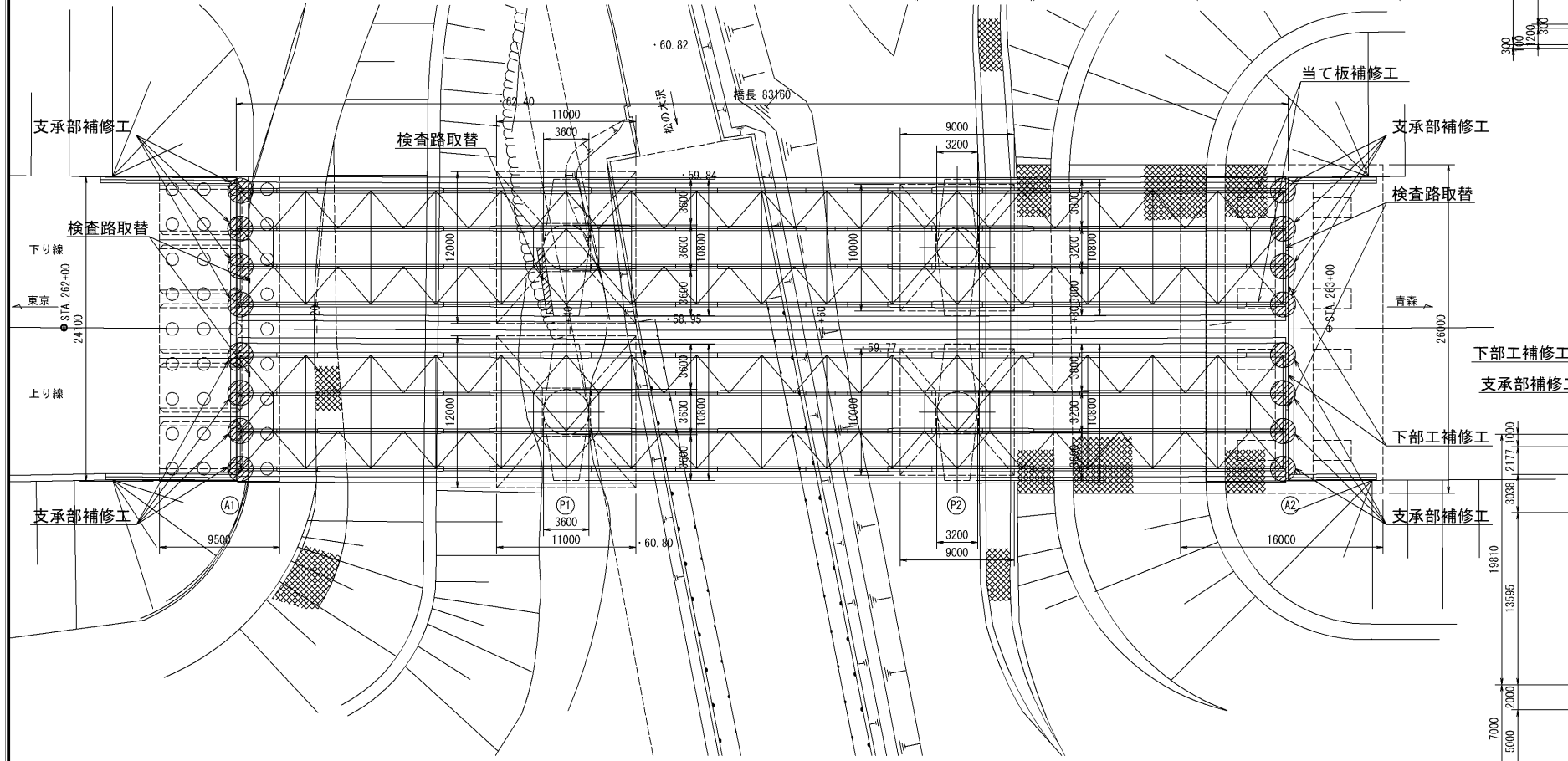
東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 数量総括表		
縮 尺	-	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

松ノ木沢橋 補修一般図

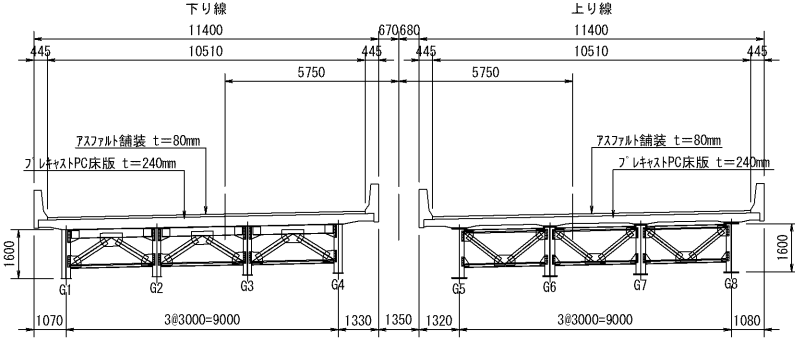
側面図 S=1:500
() : 下り線



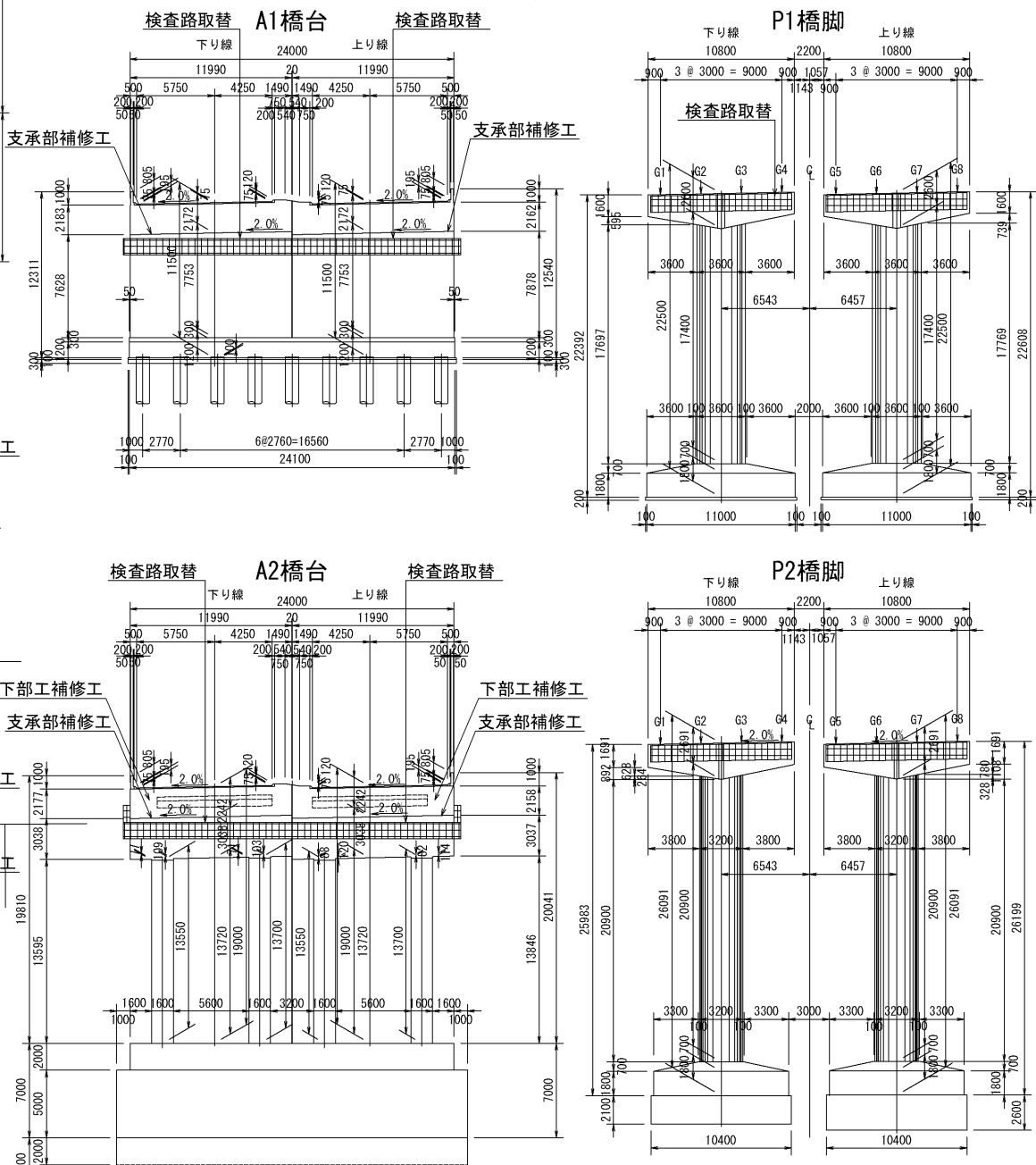
平面図 S=1:500



上部工断面図 S=1:250



下部工断面図 S=1:500

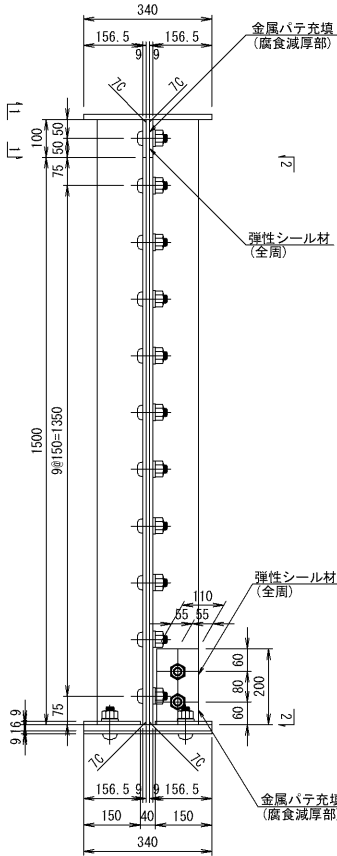


東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

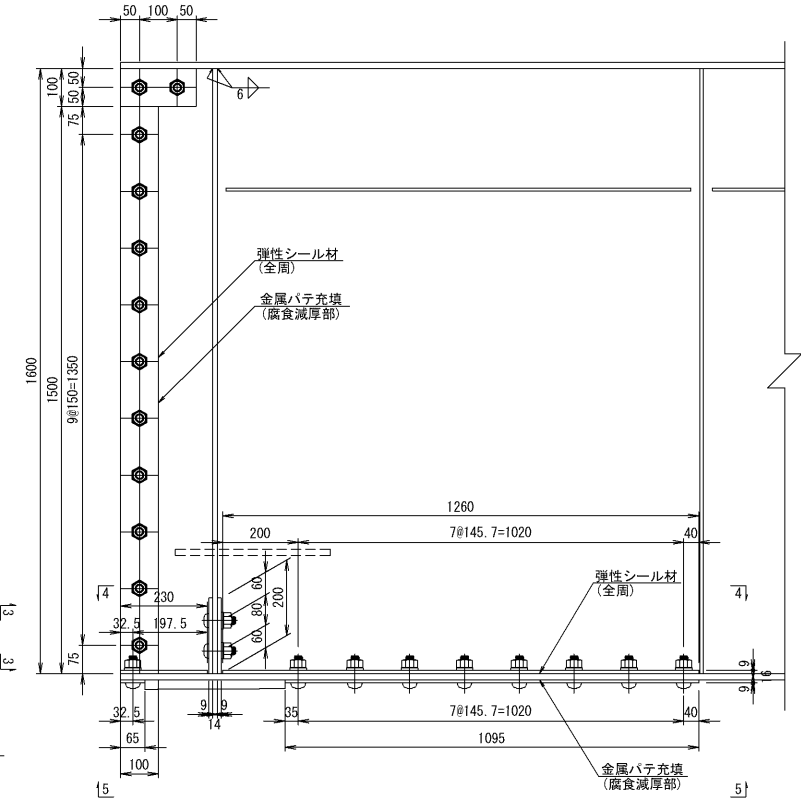
松ノ木沢橋 当て板補修工図(1)

主桁 G1

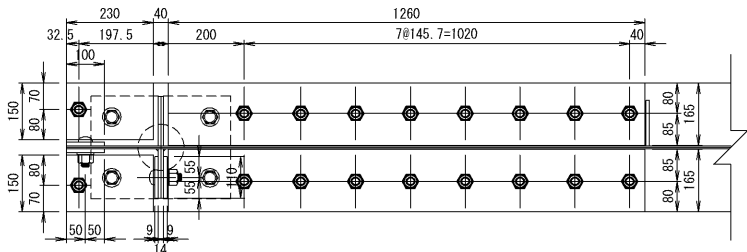
断面図 S=1:20



側面図 S=1:20



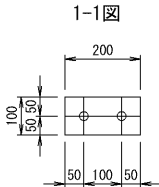
平面図 S=1:20



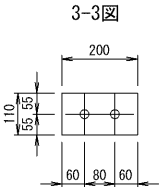
G1部使用部材明細

- 2-PL 100x9x 200 (SM400A) . . . WEB〔1〕
- 2-BN M22 x 70 (S10T) . . . WEB〔1〕
- 2-PL 110x9x 200 (SM400A) . . . STIFF〔2〕
- 2-BN M22 x 80 (S10T) . . . STIFF〔2〕
- 2-PL 100x9x1500 (SM400A) . . . WEB〔3〕
- 10-BN M22 x 70 (S10T) . . . WEB〔3〕
- 2-PL 150x9x 230 (SM400A) . . . FLG〔4〕
- 2-PL 165x9x1260 (SM400A) . . . FLG〔4〕
- 1-PL 65x9x 340 (SM400A) . . . FLG〔4〕
- 1-PL 340x9x1095 (SM400A) . . . FLG〔4〕
- 18-BN M22 x 80 (S10T) . . . FLG〔4〕

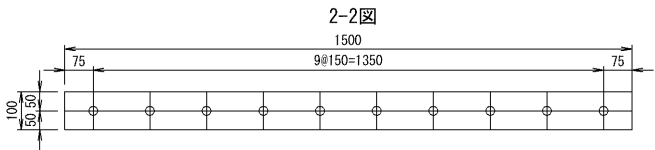
①当て板詳細図 S=1:20



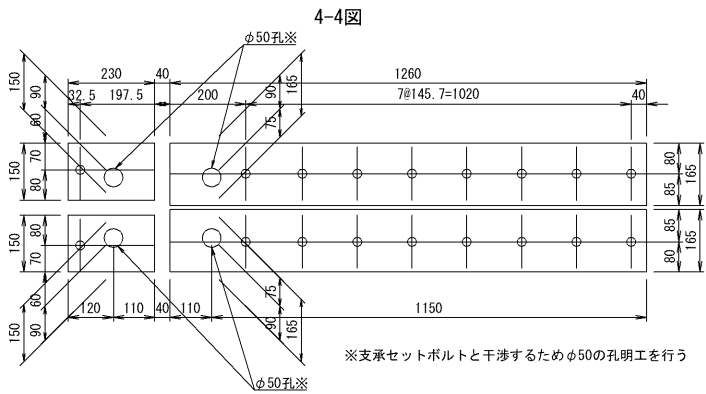
②当て板詳細図 S=1:20



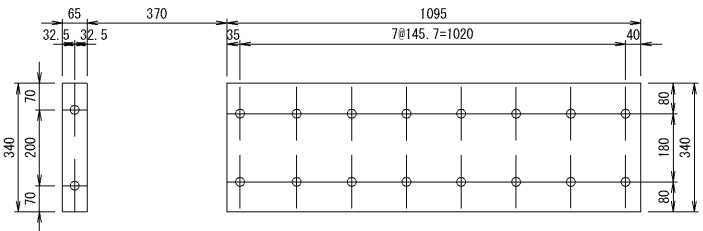
③当て板詳細図 S=1:20



④当て板詳細図 S=1:20



5-5図



※支承セットボルトと干渉するためφ50の孔工を行う

使用部材重量表

箇所	種別	仕 様	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	NET	1個当たりの 質量 (kg/個)	数量	質 量 (kg)
G1①	PL	100x9x200	7.065	0.200	—	1.413	2	2.826
	BN	M22x70 (S10T)	—	—	—	0.523	2	1.046
	PL	110x9x200	7.772	0.200	—	1.554	2	3.108
G1②	BN	M22x80 (S10T)	—	—	—	0.553	2	1.106
	PL	100x9x1500	7.065	1.500	—	10.598	2	21.196
G1③	BN	M22x70 (S10T)	—	—	—	0.523	10	5.230
	PL	150x9x230	10.598	0.230	—	2.438	2	4.876
G1④	PL	165x9x1260	11.657	1.260	—	14.688	2	29.376
	PL	65x9x340	4.592	0.340	—	1.561	1	1.561
	PL	340x9x1095	24.021	1.095	—	26.303	1	26.303
	BN	M22x80 (S10T)	—	—	—	0.553	18	9.954
	当て板補修工 G 1 小計							106.582
G4①	PL	120x9x180	8.478	0.180	—	1.526	2	3.052
	BN	M22x70 (S10T)	—	—	—	0.523	2	1.046
G4②	PL	150x9x230	10.598	0.230	—	2.438	2	4.876
	PL	165x9x1260	11.657	1.260	—	14.688	2	29.376
	PL	65x9x340	4.592	0.340	—	1.561	1	1.561
	PL	340x9x1095	24.021	1.095	—	26.303	1	26.303
	BN	M22x80 (S10T)	—	—	—	0.553	18	9.954
当て板補修工 G 4 小計								76.168
当て板補修工合計								182.750

数量表 当て板補修工A

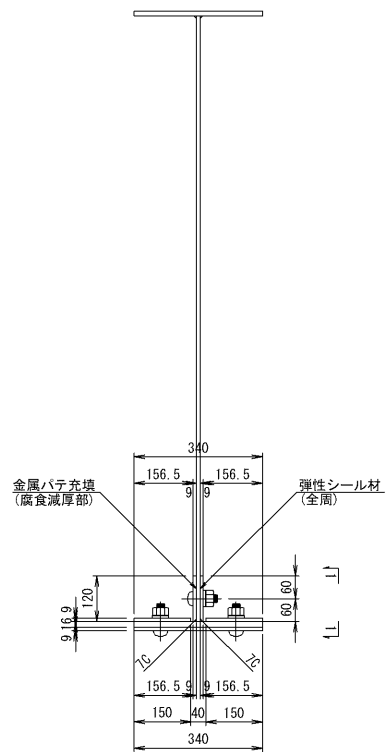
工 種	仕 様	単位	数量			備 考
			G1桁	G4桁	合計	
当て板補修工	図示	kg	106.6	76.2	182.8	
現場孔明工	t=9mm	箇所	12	2	14	
	t=14mm	箇所	2	0	2	
	t=16mm	箇所	18	18	36	
	合計	箇所	32	20	52	
塗膜除去工	塗膜剥離剤	m2	1.3	0.9	2.2	
素地調整工	2種ケレン相当	m2	1.3	0.9	2.2	
塗装工	金属パテ	L	3.8	2.8	6.6	
塗装工	g-3	m2	1.6	1.1	2.7	
シール工	弾性シール材	L	0.7	0.4	1.1	

- 注記)
- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い現地状況を確認すること。
 - 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
 - 特記なき鋼部材のボルト孔はφ24.5を示す。
 - 当該箇所以外に減肉が確認された箇所は、発注者と協議の上、金属パテ等で補修を行うこと。

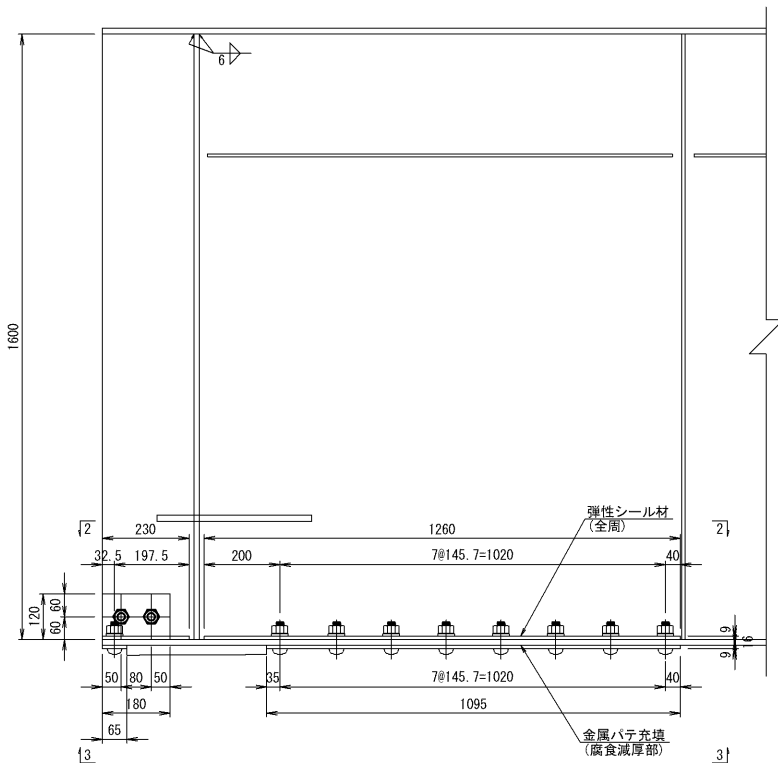
東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事		
図面の種類	松ノ木沢橋 当て板補修工図(1)	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社福山コンサルタント	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所	

主桁 G4

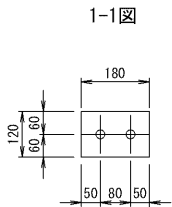
断面図 S=1:20



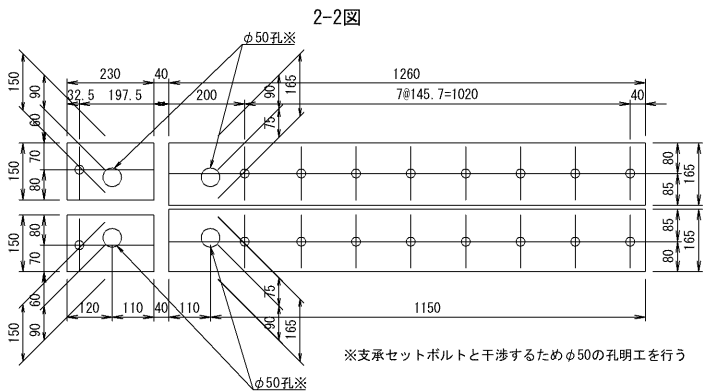
側面図 S=1:20



①当て板詳細図 S=1:20

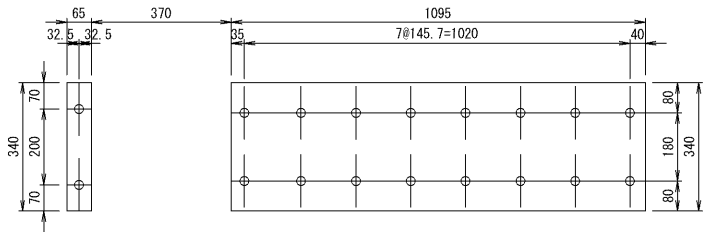


②当て板詳細図 S=1:20

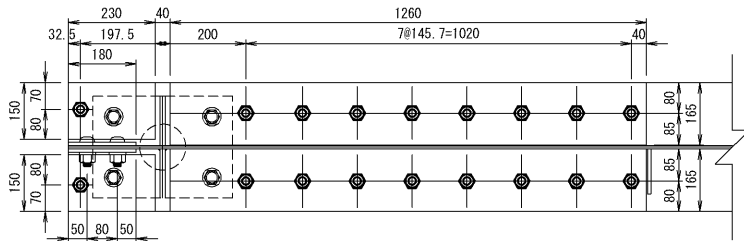


※支承セットボルトと干渉するためφ50の孔明工を行う

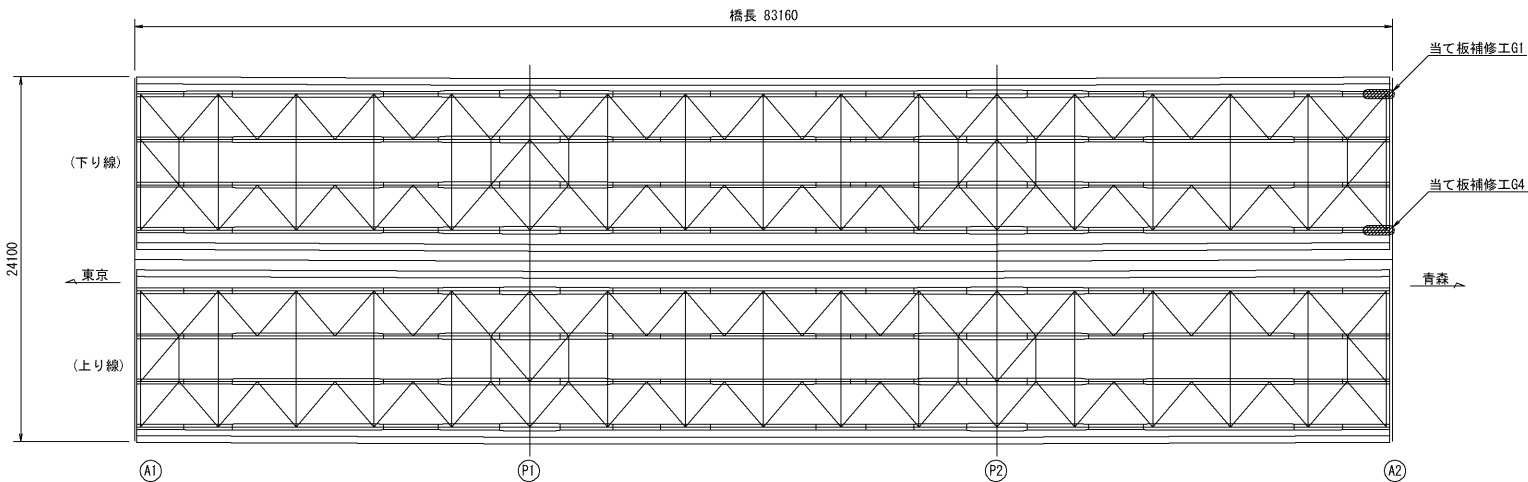
3-3図



平面図 S=1:20



位置図 S=1:500



G4部使用部材明細

- 2-PL 120x9x 180 (SM400A) . . . WEB[①]
- 2-BN M22 x 70 (S10T) . . . WEB[①]
- 2-PL 150x9x 230 (SM400A) . . . FLG[②]
- 2-PL 165x9x1260 (SM400A) . . . FLG[②]
- 1-PL 65x9x 340 (SM400A) . . . FLG[②]
- 1-PL 340x9x1095 (SM400A) . . . FLG[②]
- 18-BN M22 x 80 (S10T) . . . FLG[②]

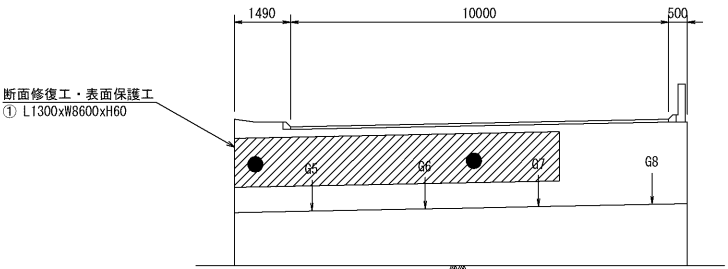
注記)

- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い現地状況を確認すること。
- 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
- 特記なき鋼部材のボルト孔はφ24.5を示す。
- 当該箇所以外に減肉が確認された箇所は、発注者と協議の上、金属パテ等で補修を行うこと。

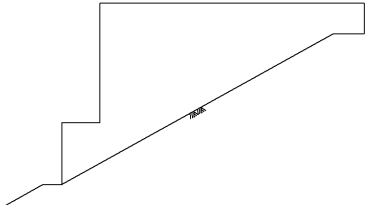
東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 当て板補修工図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

松ノ木沢橋 下部工補修工図(1)
上り線A2橋台

正面図 S=1:200

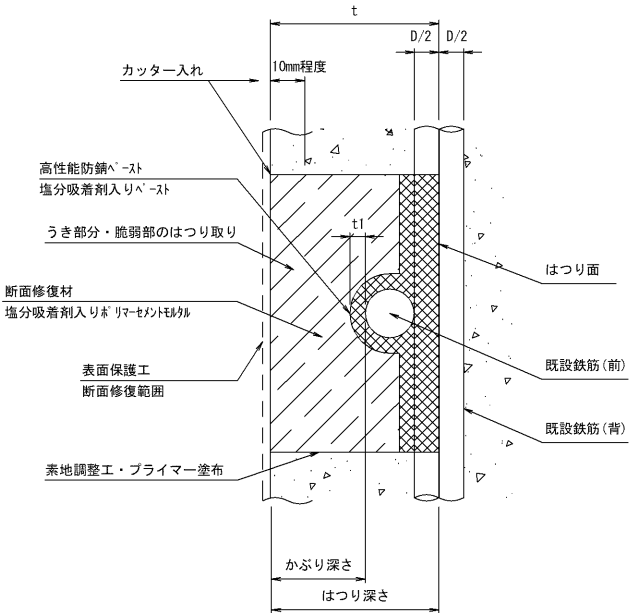


側面図 S=1:200



断面修復工・表面保護工範囲
試料採取工 A (詳細調査)

断面修復工要領図
(塩分吸着剤入りポリマーセメントモルタル+高性能防錆ペー



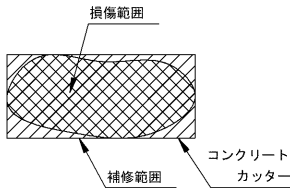
数量表(コンクリートはつり工)													
下部工 上り線 (A2)	補修方法	足場工 の種類	一般部・ 狭陸部	補修寸法				箇所	はつり数量 (m³)			WJはつり (m³)	摘要
				No	長さ (m)	幅 (m)	深さt (m)		水平	上向	下向		
A(狭陸部)	固定	狭陸部	①	1.300	8.600	0.060	1	0.671	-	-	0.671		
				合計				1	0.671	0.000	0.000	0.671	

数量表（断面修復工）														
下部工 上り線 (A2)	補修方法	足場工 の種類	一般部・ 狭陸部	補修寸法				箇所	面積 (㎡)	体積 (L)	防錆ペー スト厚 (mm)	防錆ペー スト (L)	その他 PCM (L)	摘要
				No	長さ (m)	幅 (m)	深さt (m)							
					B3-5 (狭陸部) (A)	固定	狭陸部		①	1.300	8.600	0.060	1	11.2
				合計				1	11.2	671	-	56	615	

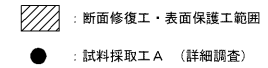
数量表 (表面保護工)							
下部工 上り線 (A2)	補修方法	足場工 の種類	補修寸法				面積 (m ²)
			No	長さ (m)	幅 (m)	箇所	
			①	1.300	8.600	1	11.2
	コンクリート 表面被覆工 (A)	固定	合計				1

数量表(試料採取工A)			
採取箇所	単位	数量	備 考
上り線A2橋台 胸壁部	箇所	2	ドリル法(φ20mm)3点/箇所 L=100mm:20mm間隔で5断面採取

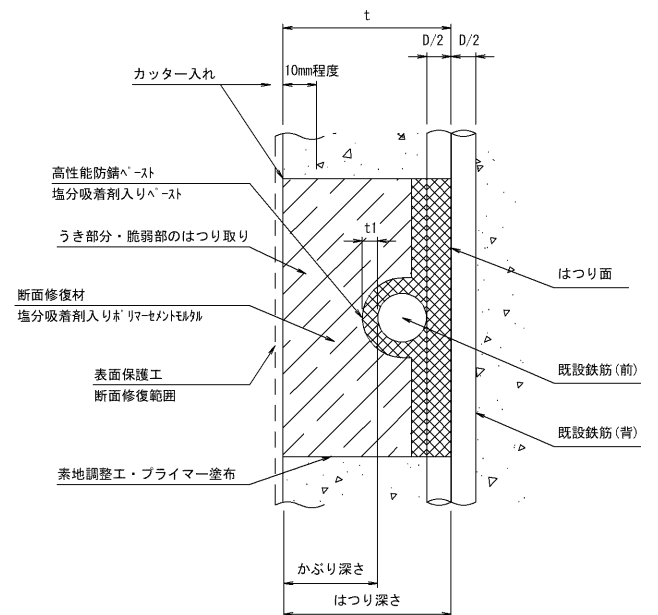
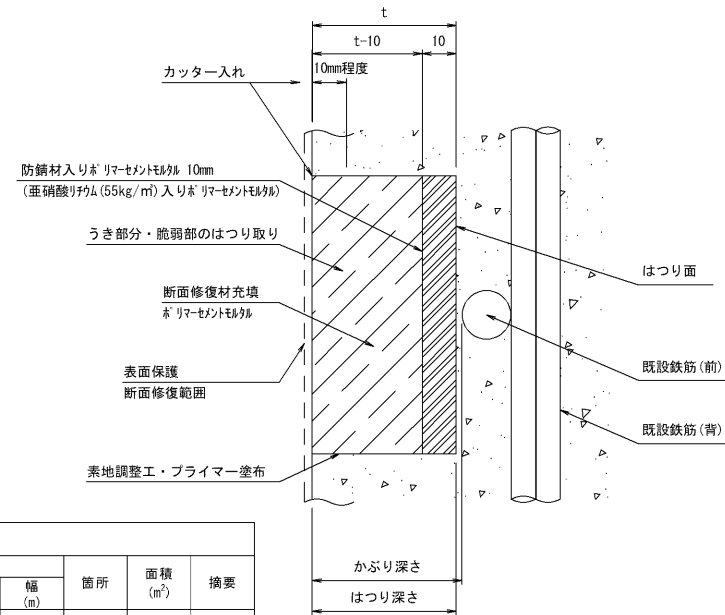
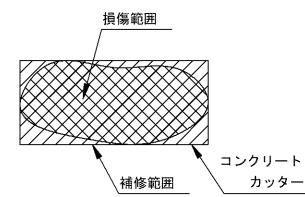
断面修復範囲図



東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 下部工補修工図(1)		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		



補修方法	足場工の種別	一般部・狹隘部	補修寸法				箇所	面積 (㎡)	体積 (L)	防錆ペー スト厚 (mm)	防錆ペー スト (L)	その他 PCM (L)	摘要
			No	長さ (m)	幅 (m)	深さ t (m)							
B3-2 (A)	固定	一般部	④	1.600	12.000	0.100	1	19.2	1920	2	38	1882	塩分吸着材
	固定	一般部	⑤	0.400	0.800	0.100	1	0.3	32	2	1	31	塩分吸着材
	固定	一般部	⑤	-0.100	0.800	0.100	-	-0.1	-8	2	0	-8	控除
	合計						2	19.4	1944		39	1905	
B3-2 (狹隘部) (A)	固定	狹隘部	①	0.600	1.000	0.100	1	0.6	60	2	1	59	塩分吸着材
	固定	狹隘部	①	-0.100	0.600	0.100	-	-0.1	-6	2	0	-6	控除
	固定	狹隘部	①	-0.100	0.300	0.100	-	0.0	-3	2	0	-3	控除
	固定	狹隘部	②	0.200	11.400	0.100	1	2.3	228	2	5	223	塩分吸着材
	固定	狹隘部	②	-0.100	11.400	0.100	-	-1.1	-114	2	-2	-112	控除
	合計						2	1.7	165	-	4	161	
補修方法	足場工の種別	一般部・狹隘部	補修寸法				箇所	面積 (㎡)	体積 (L)	亜硝酸リ ウム厚 (mm)	亜硝酸リ ウム (L)	その他 PCM (L)	摘要
			No	長さ (m)	幅 (m)	深さ t (m)							
B2-1 (狹隘部) (A)	固定	狹隘部	③	1.700	1.700	0.060	1	2.9	173	10	29	144	亜硝酸Li+PCM
	合計						1	2.9	-	-	29	-	
補修方法	足場工の種別	一般部・狹隘部	補修寸法				箇所	面積 (㎡)	体積 (L)	亜硝酸リ ウム厚 (mm)	亜硝酸リ ウム (L)	その他 PCM (L)	摘要
			No	長さ (m)	幅 (m)	深さ t (m)							
B2-2 狹隘部) (A)	固定	狹隘部	③	1.700	1.700	0.060	1	2.9	173	10	29	144	亜硝酸Li+PCM
	合計						1	2.9	-	-	-	144	



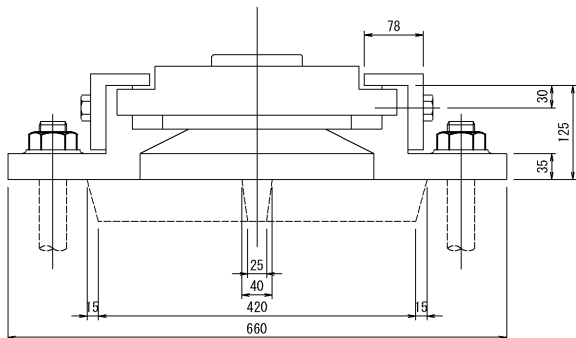
数量表(試料採取工A)			
採取箇所	単位	数量	備 考
下り線A2橋台 胸壁部	箇所	1	ドリル法 (φ20mm)3点/箇所 L=100mm:20mm間隔で9断面採取
下り線A2橋台 壁壁部	箇所	2	ドリル法 (φ20mm)3点/箇所 L=100mm:20mm間隔で9断面採取

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 下部工修繕工事図(2)		
縮 尺	1/200	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

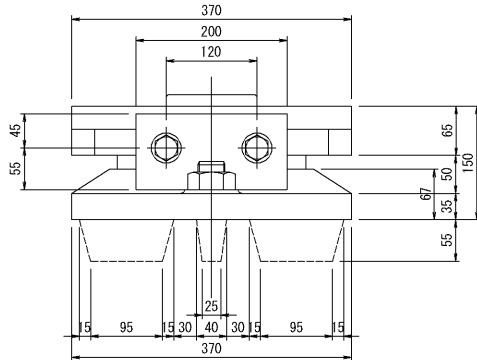
松ノ木沢橋 支承部補修工図(1)

支承詳細図(反力75ton・可動)

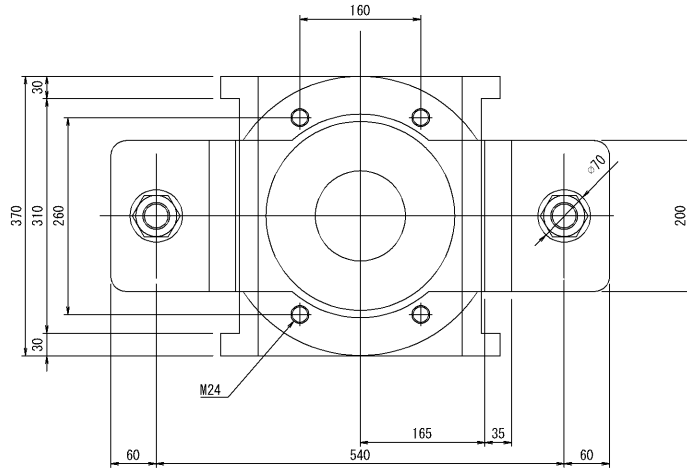
正面図 S=1:10



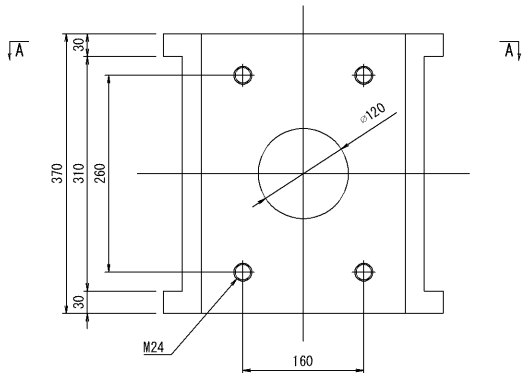
側面図 S=1:10



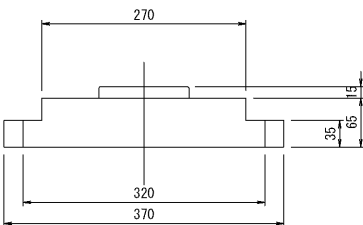
平面図 S=1:10



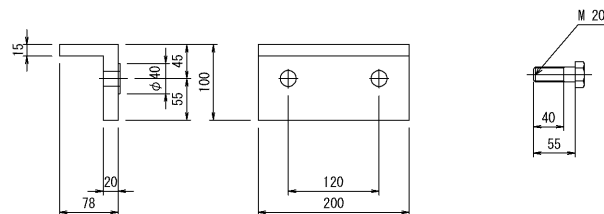
上沓詳細図 S=1:10



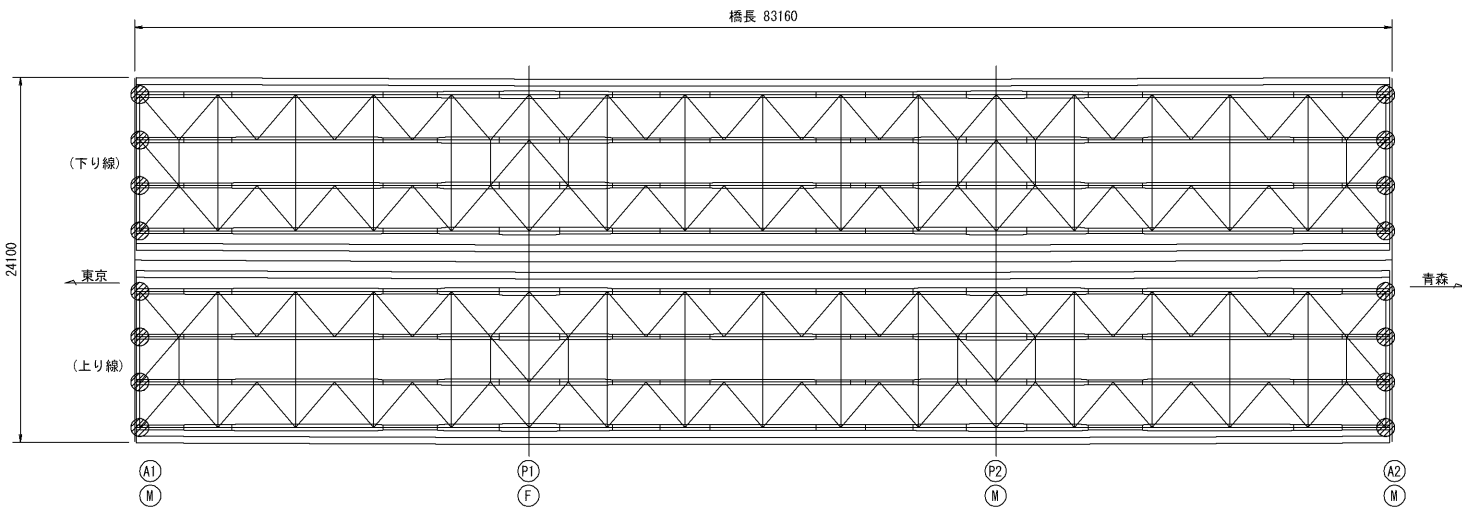
A-A断面図 S=1:10



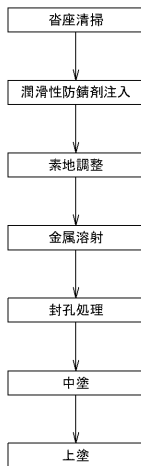
サイドブロック詳細図 S=1:10



位置図 S=1:500



施工フロー (参考)



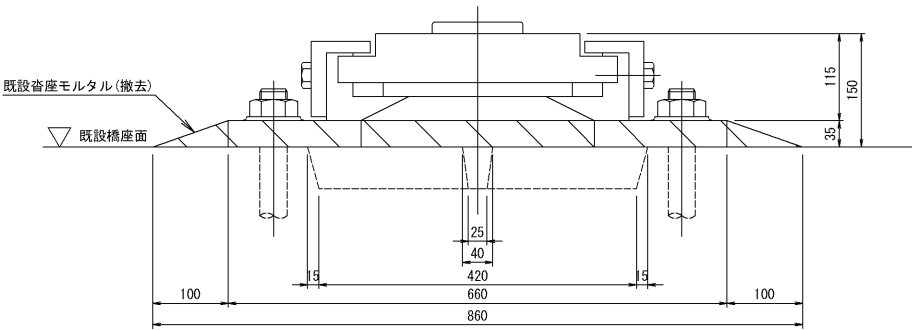
数量表 (支承部補修工)

種 別	細 別	規 格	単 位	数 量			摘 要
				A1	A2	合計	
支承防錆A	BP-A支承	可動(反力:75t)	基	8	8	16	

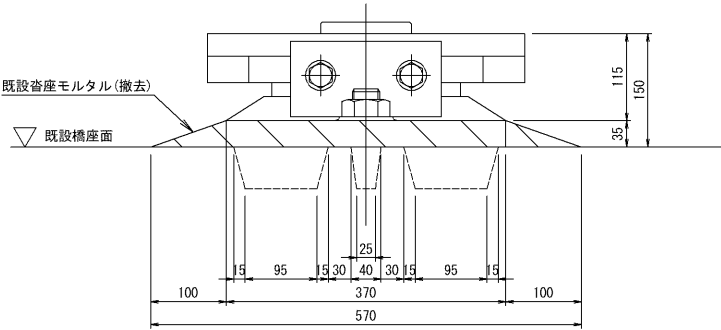
東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 支承部補修工図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

沓座モルタル撤去図(反力75ton・可動)

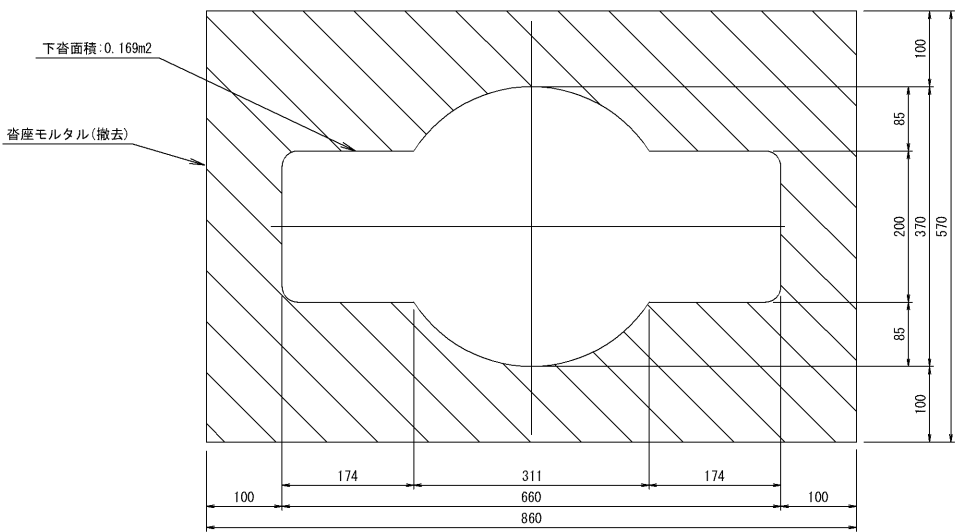
正面図 S=1:10



側面図 S=1:10

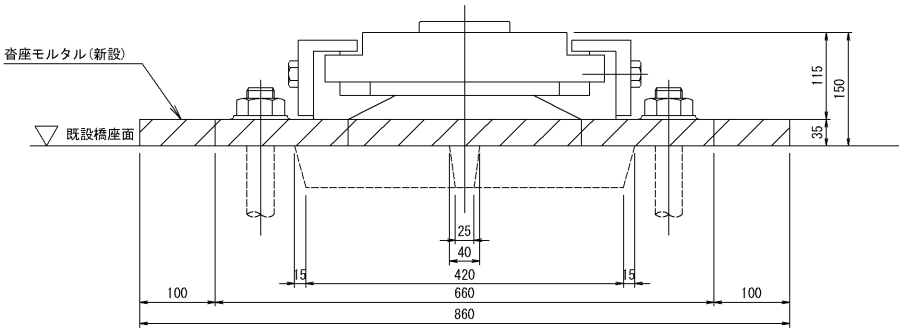


平面図 S=1:10

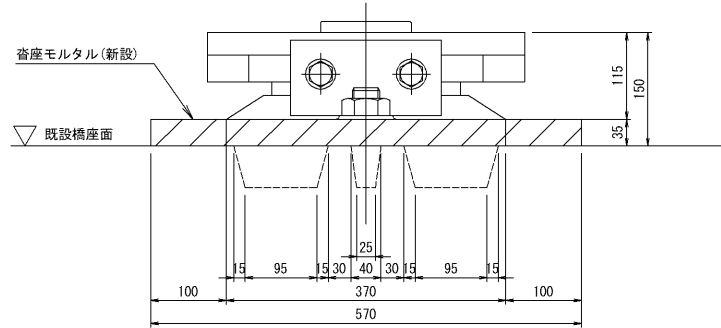


沓座モルタル新設図(反力75ton・可動)

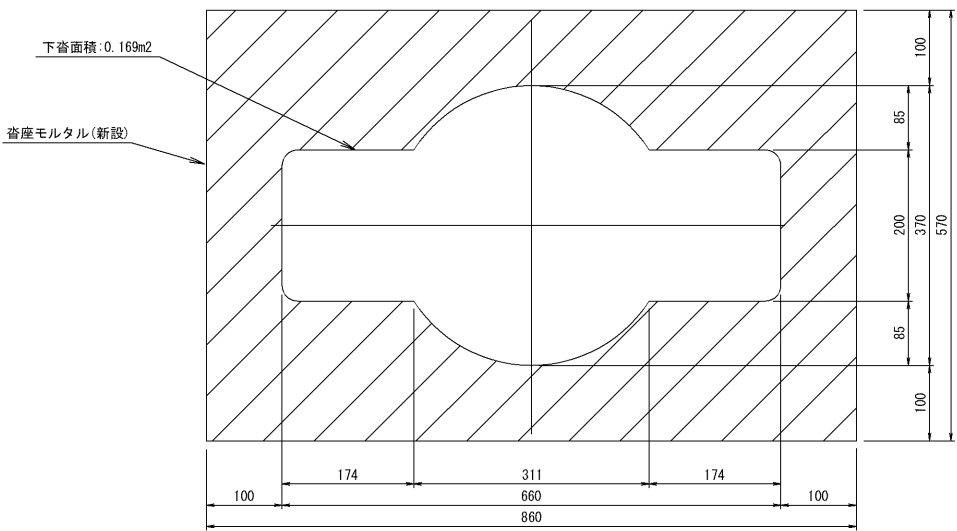
正面図 S=1:10



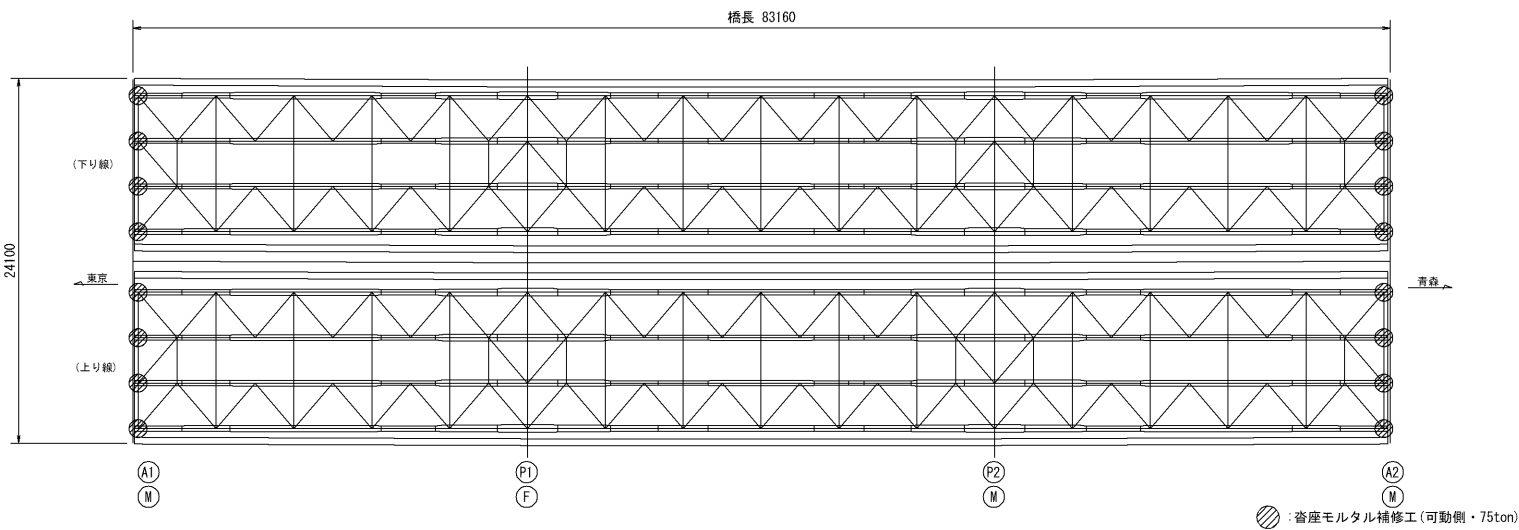
側面図 S=1:10



平面図 S=1:10



位置図 S=1:500



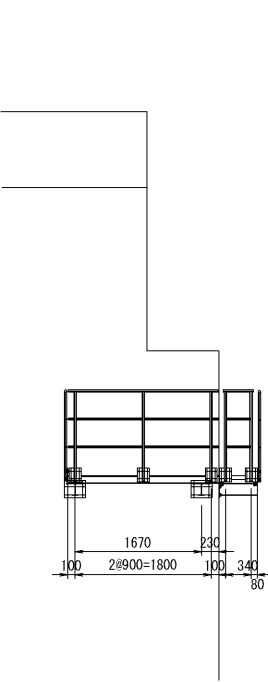
数量表(支承部補修工)

	種 別	規 格	単 位	数 量			摘 要
				A1	A2	計	
沓座モルタル	補修箇所		箇所	8	8	16	
	沓座モルタル(撤去)	既設沓座モルタル	m3	0.054	0.054	0.108	
	型わく	型わくD	m2	0.8	0.8	1.6	
	沓座モルタル(新設)	無収縮モルタル	m3	0.090	0.090	0.180	

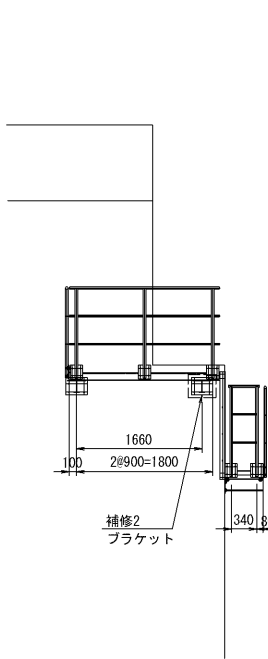
東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 支承部補修工図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

松ノ木沢橋 検査路取替一般図(1)

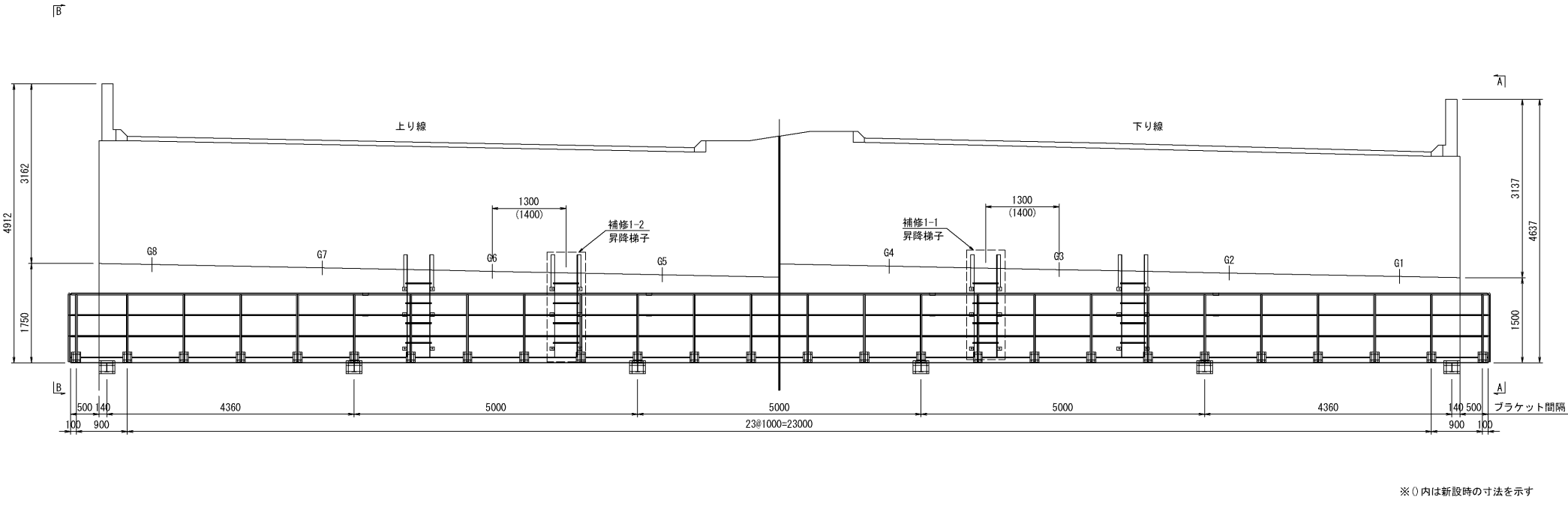
B-B図 S=1:100



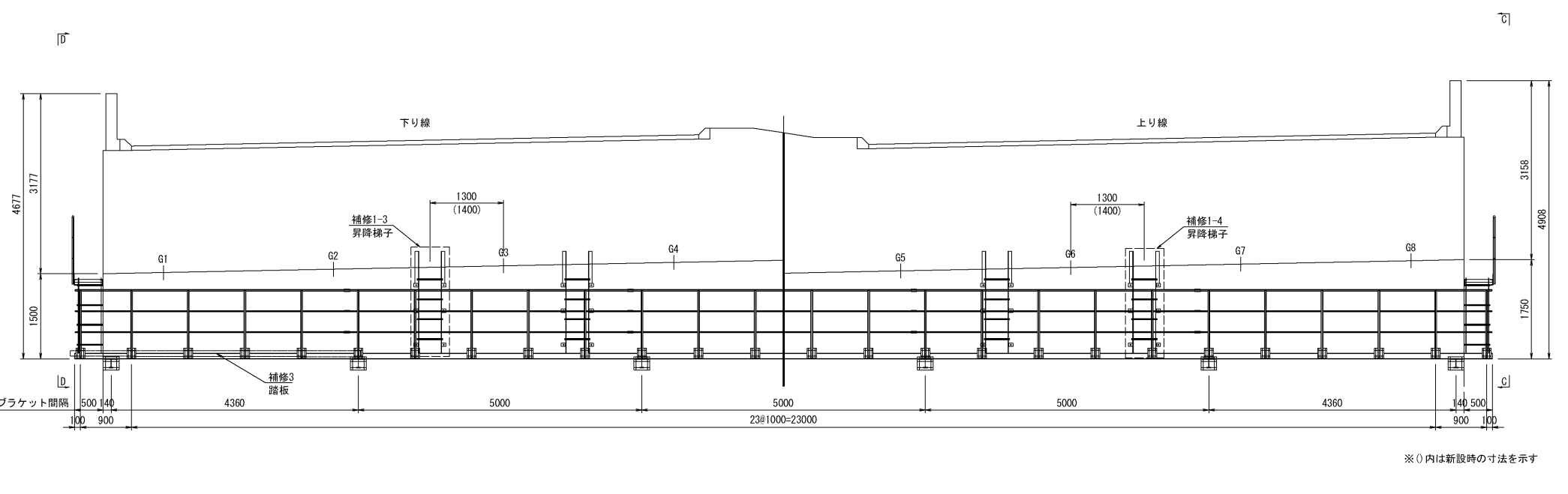
D-D図 S=1:100



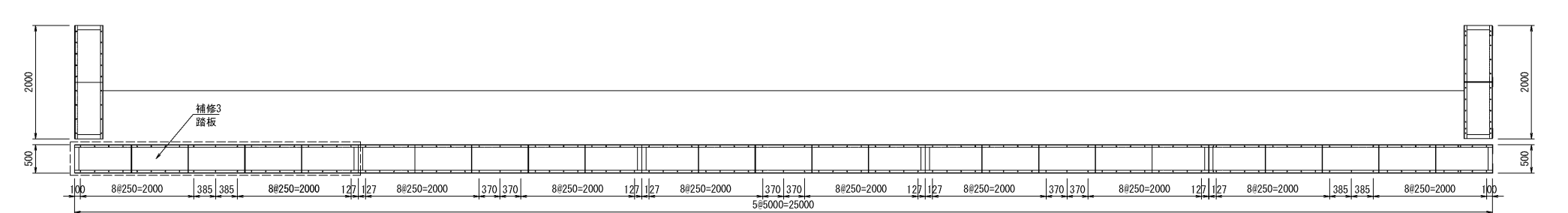
A1橋台正面図 S=1:100



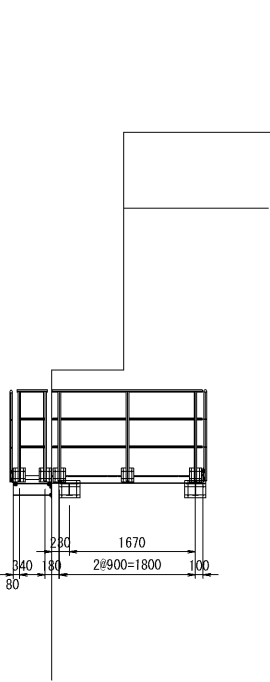
A2橋台正面図 S=1:100



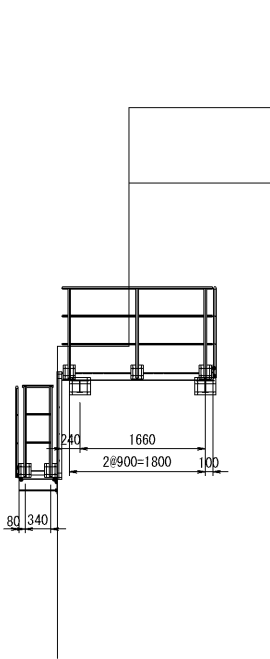
A2橋台平面図 S=1:100



A-A図 S=1:100



C-C図 S=1:100

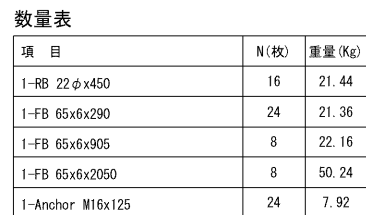


注記
1. 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ777とする。
板厚3.2mm未満の部材、手摺パイプ・縦鋼板
ボルト・ナット類は JIS H 8641 HDZT49 とする。
4. 新設ナットは、全て緩み止め機能付きとする。

数量表（検査路取替）										
項目	種別	単位	A1		P1		A2		合計	摘要
			上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線		
検査路B	部材交換	kg	30.8	30.8	0.0	109.9	30.8	115.8	318.1	

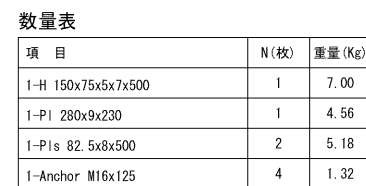
東北自動車道 松ノ木沢橋 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 検査路取替一般図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

補修2 S=1:30
(撤去数量も同様)



※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

1-RB 22 ϕ x450	:	1.34kg
1-FB 65x6x290	:	0.89kg
1-FB 65x6x905	:	2.77kg
1-FB 65x6x2050	:	6.28kg
1-Anchor M16x125	:	0.33kg



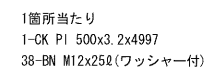
※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

1-H 150x75x5x7x500	:	7.00kg
1-P1 280x9x230	:	4.56kg
1-P/s 82.5x8x500	:	2.59kg
1-Anchor M16x125	:	0.33kg

補修3 S=1:50

(撤去数量も同様)

注) 排水管の貫通孔については、現地計測のもとに適切な位置に設けること。

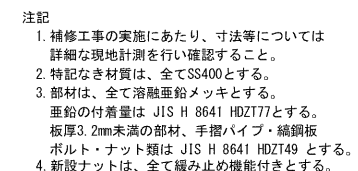


1-CK PI 500x3.2x4997 : 66.93kg

項 目	N (枚)	重量 (Kg)
1-CK PI 500x3. 2x4997	1	66. 93

※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

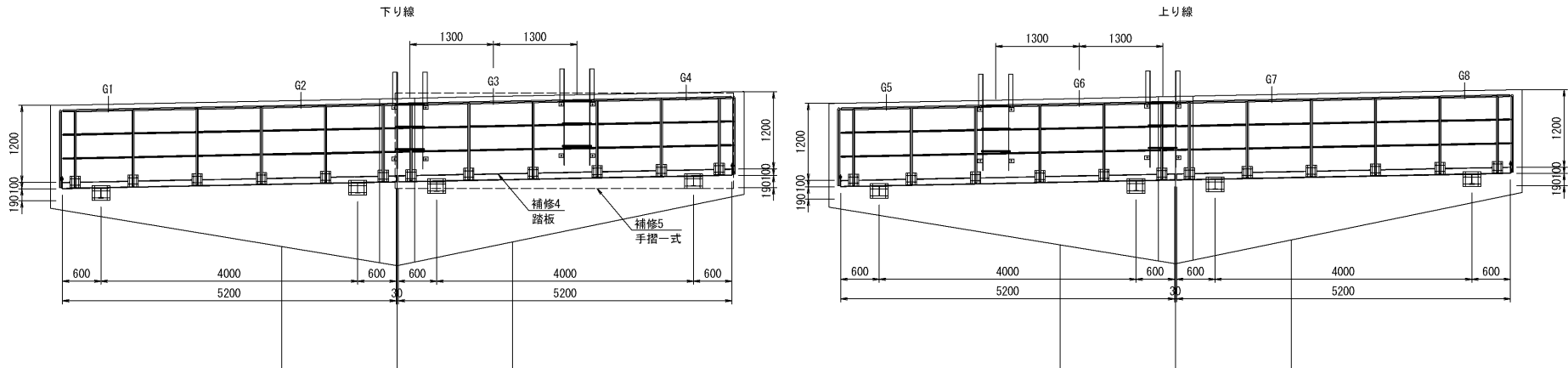
位置図 S=1:500



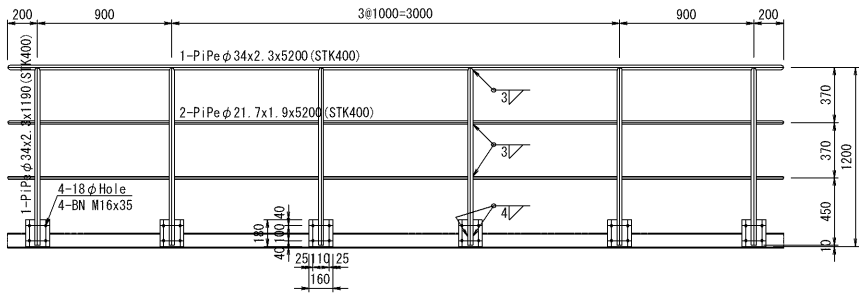
東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 検査取替一般図 (2)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

松ノ木沢橋 検査路取替一般図(3)

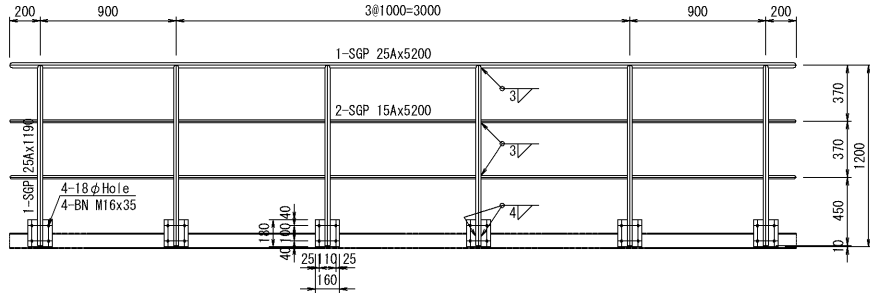
P1橋脚正面図(A1側) S=1:100



補修5 S=1:50



撤去5 S=1:50



1箇所当たり
1-PiPe φ34x2.3x5200
6-PiPe φ34x2.3x1190
2-PiPe φ21.7x1.9x5200
6-PI 160x6x180
24-BN M16x35

項 目	N(本)	重量 (Kg)
1-PiPe φ34x2.3x5200 (STK400)	1	9.36
1-PiPe φ34x2.3x1190 (STK400)	6	12.85
1-PiPe φ21.7x1.9x5200 (STK400)	2	9.67
1-PI 160x6x180	6	8.16

※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

参考重量 (1部材当たり)	
1-PiPe φ34x2.3x5200 (STK400)	9.36kg
1-PiPe φ34x2.3x1190 (STK400)	2.14kg
1-PiPe φ21.7x1.9x5200 (STK400)	4.84kg
1-PI 160x6x180	1.36kg

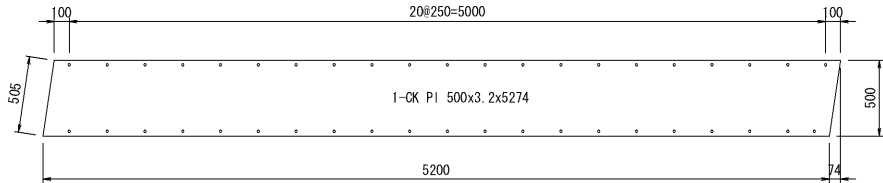
1箇所当たり
1-SGP 25Ax5200
6-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax5200
6-PI 160x6x180
24-BN M16x35

項 目	N(本)	重量 (Kg)
1-SGP 25Ax5200	1	12.64
1-SGP 25Ax1190	6	17.34
1-SGP 15Ax5200	2	13.62
1-PI 160x6x180	6	8.16

※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

参考重量 (1部材当たり)	
1-SGP 25Ax5200	12.64kg
1-SGP 25Ax1190	2.89kg
1-SGP 15Ax5200	6.81kg
1-PI 160x6x180	1.36kg

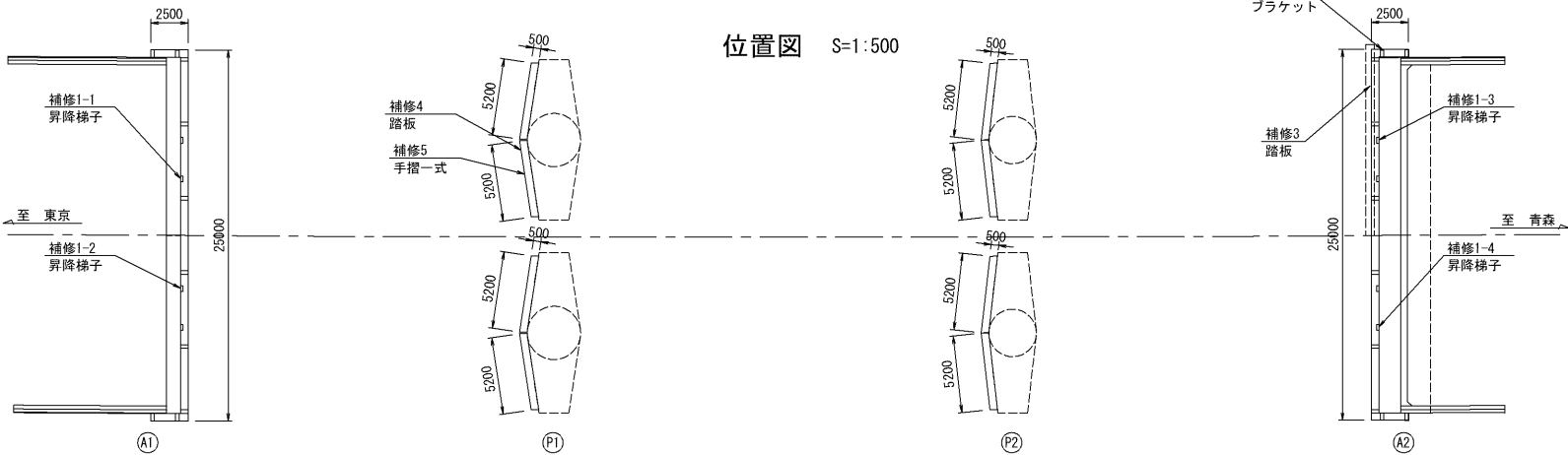
補修4 (撤去数量も同様) S=1:50



項 目	N(本)	重量 (Kg)
1-CK PI 500x3.2x5274 (NET0.99)	1	69.94

※取付部材に接する取付ボルトは再利用を想定している。

参考重量 (1部材当たり)	
1-CK PI 500x3.2x5274 (NET0.99)	69.94kg



- 注記
- 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ777とする。
板厚3.2mm未満の部材、手摺パイプ・編鋼板
ボルト・ナット類は JIS H 8641 HDZ749 とする。
 - 新設ナットは、全て緩み止め機能付きとする。

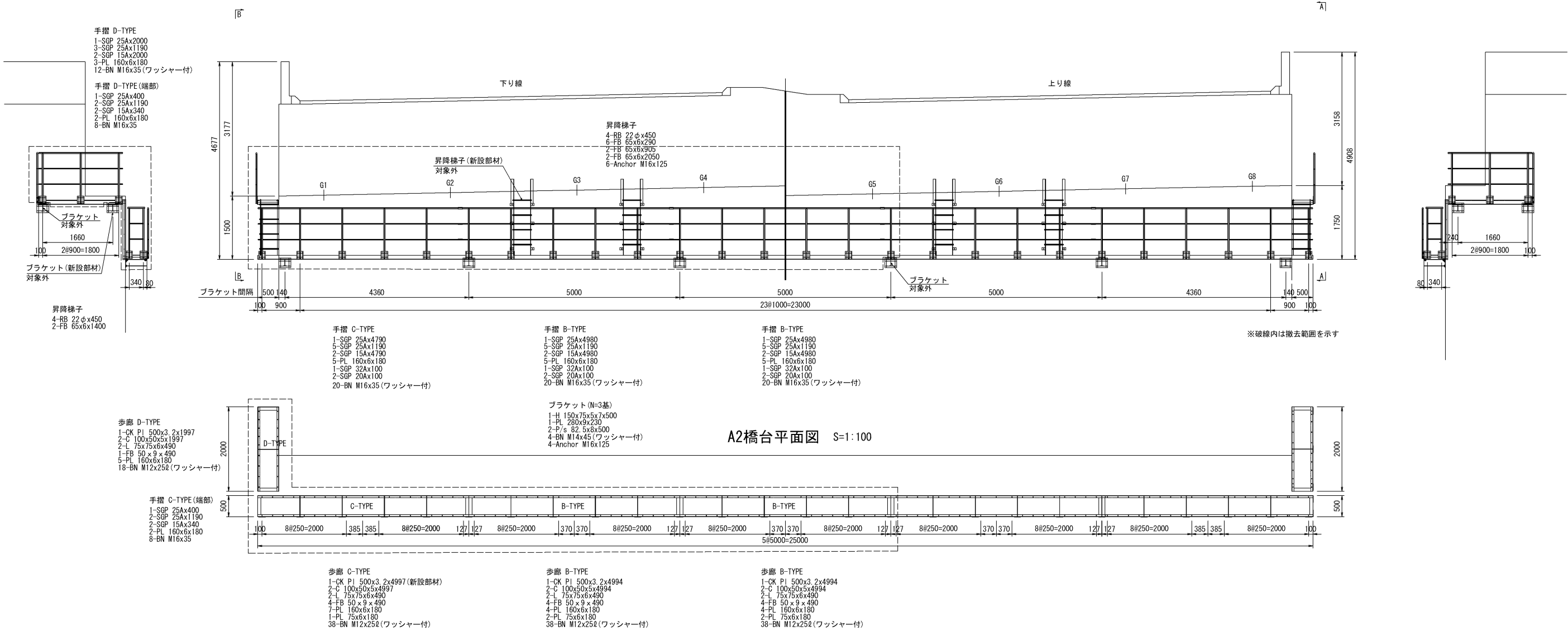
東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 検査路取替一般図(3)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

松ノ木沢橋 検査路撤去再設置工一般図

B-B図 S=1:100

A2橋台正面図 S=1:100

A-A図 S=1:100

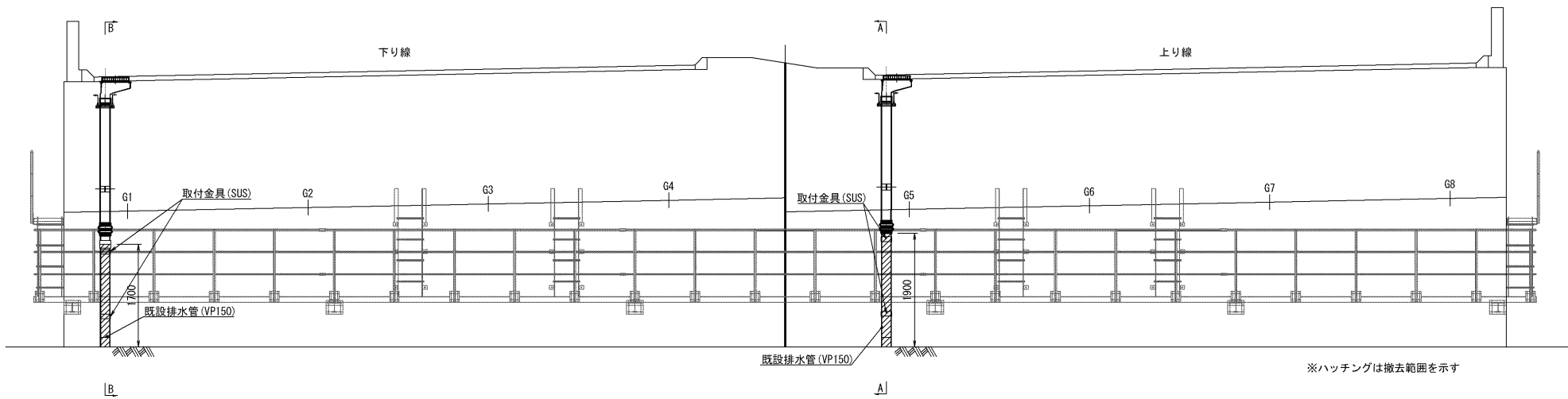


- 注記
- 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ777とする。
板厚3.2mm未満の部材、手摺パイプ・縦銅板
ボルト・ナット類は JIS H 8641 HDZ749 とする。
 - 新設部材は検査路取替にて重量計上していることから検査路撤去再設置からは控除している。
 - 新設ナットは、全て緩み止め機能付きとする。

数量表 (検査路撤去再設置工合計)				
項目	種別	単位	合計	摘要
検査路B	撤去再設置	t	0.855	

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 検査路撤去再設置工一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

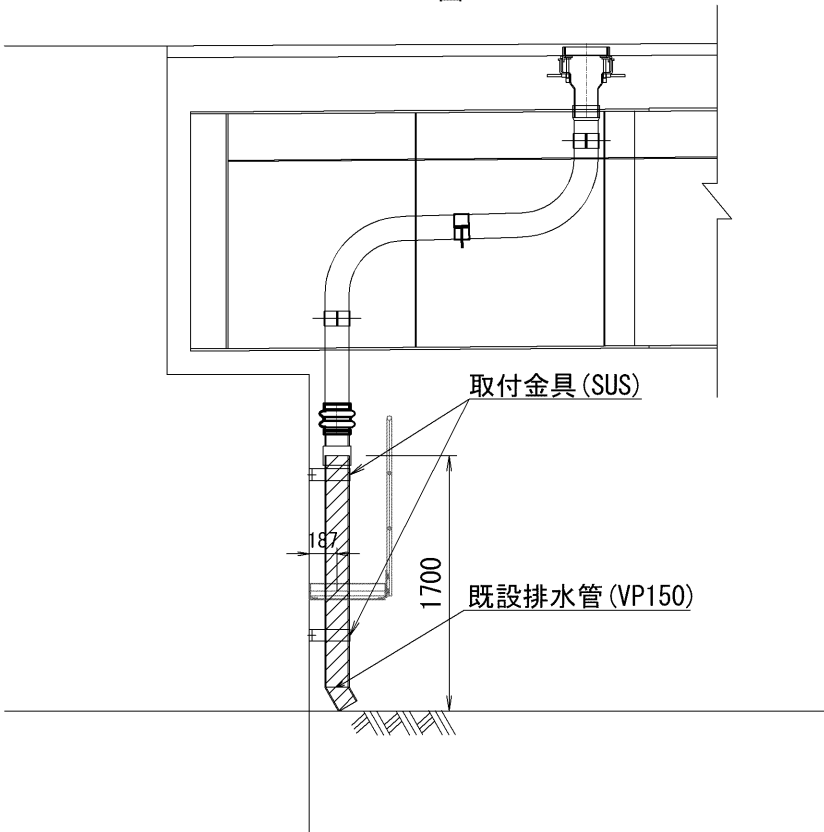
A2橋台正面図 S=1:100



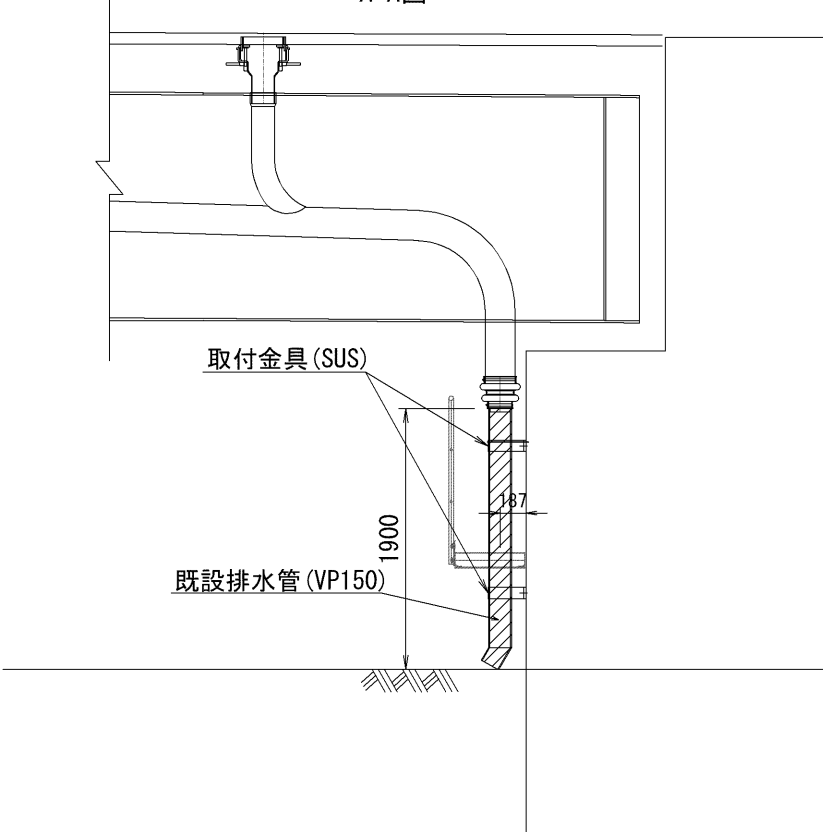
A2橋台平面図 S=1:100



B-B図 S=1:50



A-A図 S=1:50



数量表 (排水管撤去再設置工合計)				
項目	種別	単位	合計	摘要
排水管 A	撤去再設置	m	3.6	

注記
1. 補修工事の実施にあたり、寸法等については
詳細な現地計測を行い確認すること。

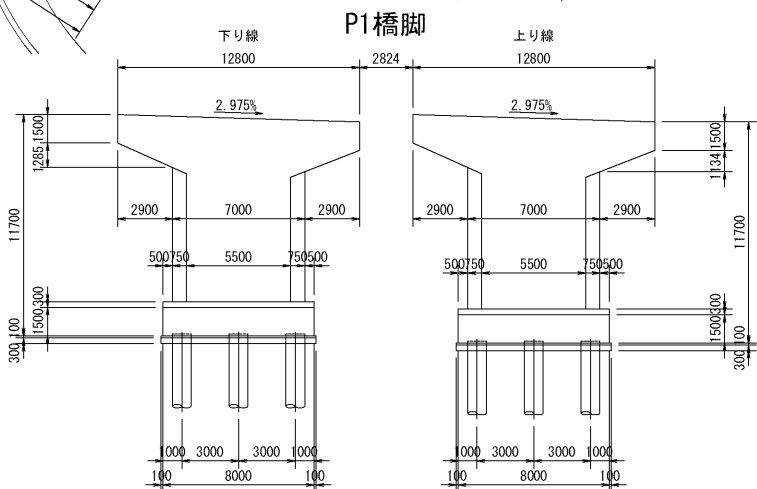
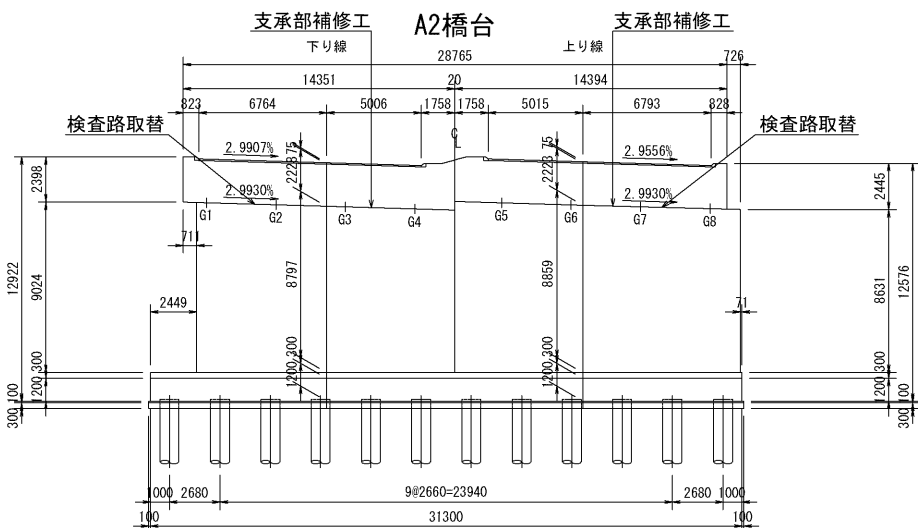
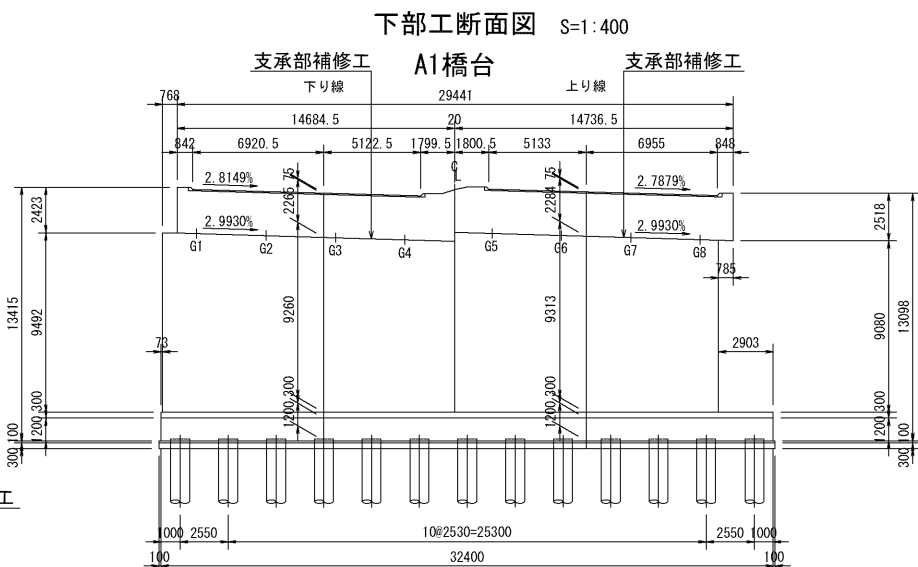
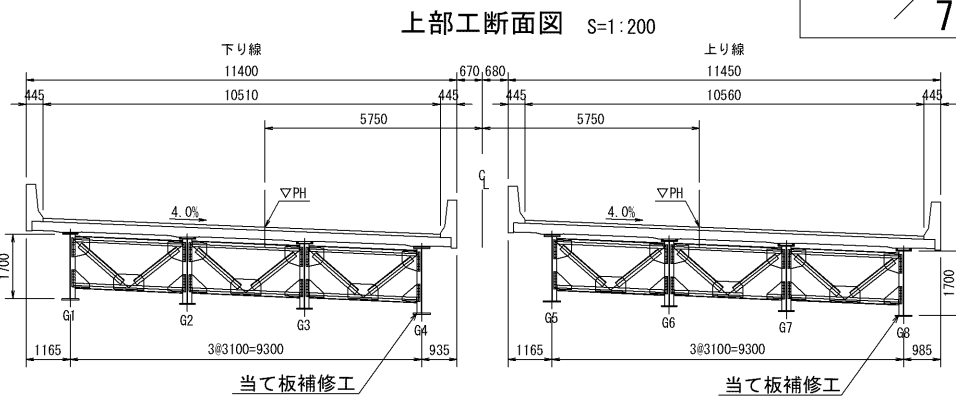
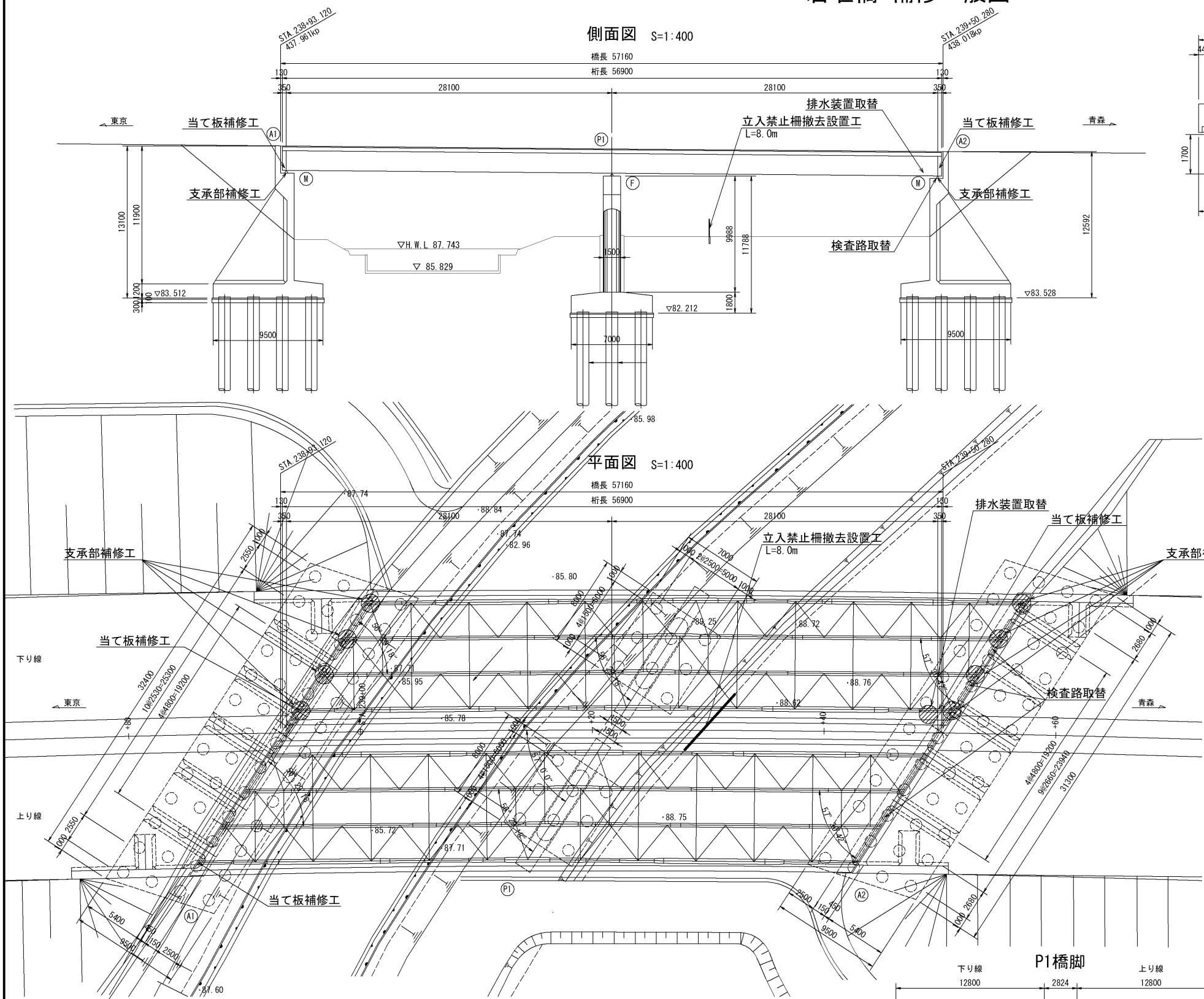
東北自動車道 松ノ木沢橋他 1 橋補修工事			
図面の種類	松ノ木沢橋 排水管撤去再設置工一般図		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

岩堰橋

設 計 図

項 目	単価名称	単位	上部工				下部工				合計	備考
			A1～P1		P1～A2		A1橋台		A2橋台			
			上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線	上り線	下り線		
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m							8.0		8.0	
排水装置取替	排水管A 支持金具	kg			8.4	8.4					16.8	
支承部補修工	支承防錆 A	基						4.0		4.0	8.0	
支承部補修工	沓座モルタル	箇所						4.0		4.0	8.0	
検査路取替	検査路A 支持金具	kg			18.3	38.8					57.1	
検査路取替	台座モルタル	箇所			1.0	2.0					3.0	
当て板補修工	B	kg	5.7	11.3		329.2					346.2	

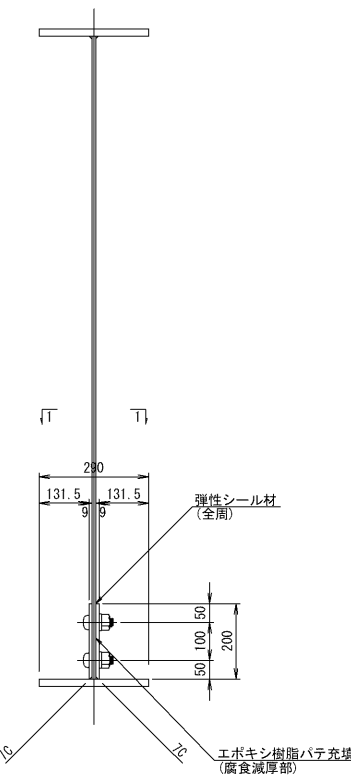
岩堰橋 補修一般図



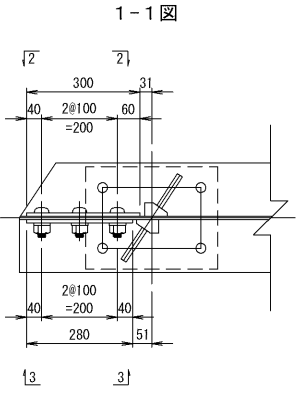
東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

岩堰橋 当て板補修工図

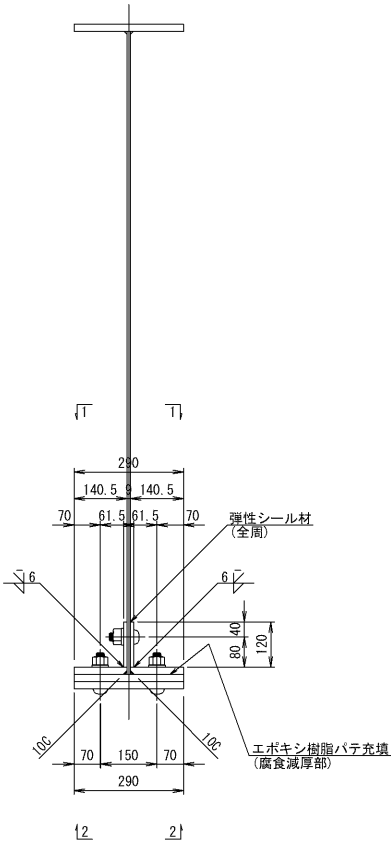
①部断面図 S=1:20



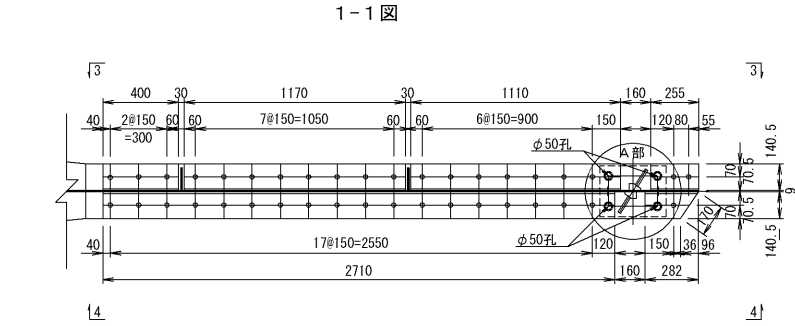
①部平面図 S=1:20



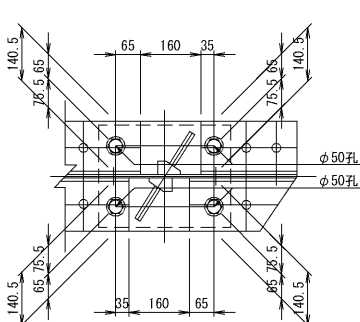
②部断面図 S=1:20



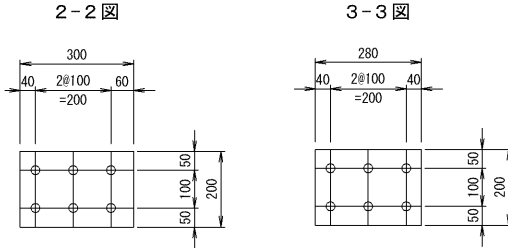
②部平面図 S=1:40



A部詳細図 S=1:20



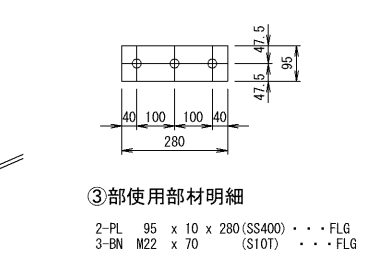
①部当て板詳細図 S=1:20



①部使用部材明細

1-PL 200 x 9 x 300 (SS400)・・・WEB
1-PL 200 x 9 x 280 (SS400)・・・WEB
6-BN M22 x 70 (S10T)・・・WEB

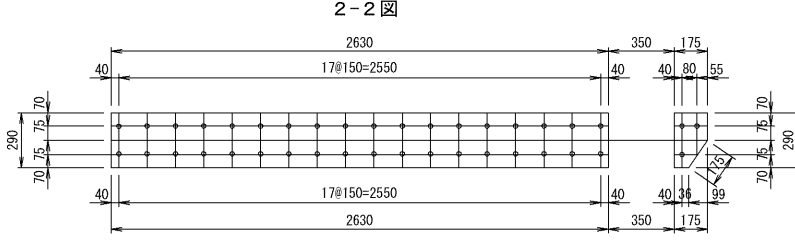
③部当て板詳細図 S=1:20



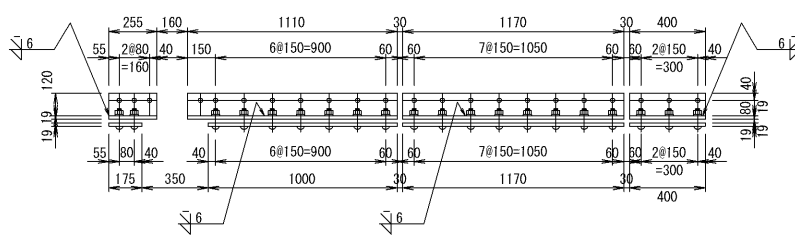
③部使用部材明細

2-PL 95 x 10 x 280 (SS400)・・・FLG
3-BN M22 x 70 (S10T)・・・FLG

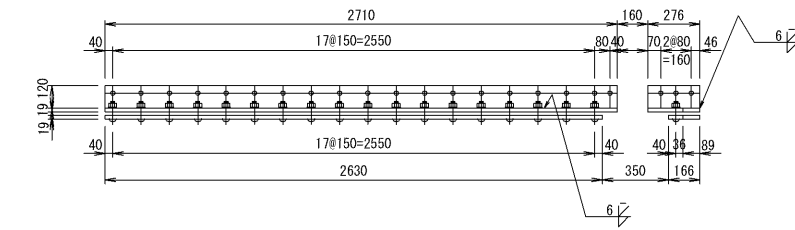
②部当て板詳細図 S=1:40



3-3図



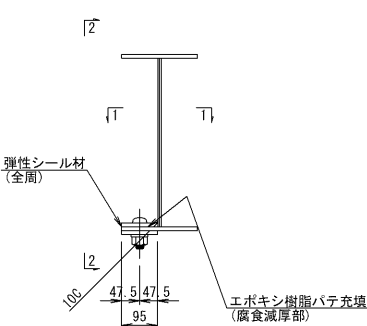
4-4図



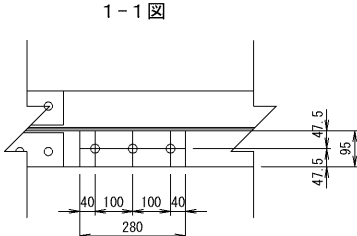
②部使用部材明細

1-PL 120 x 9x 255 (SM400A)・・・WEB
1-PL 120 x 9x 1110 (SM400A)・・・WEB
1-PL 120 x 9x 1170 (SM400A)・・・WEB
1-PL 120 x 9x 400 (SM400A)・・・WEB
1-PL 120 x 9x 276 (SM400A)・・・WEB
1-PL 120 x 9x 2710 (SM400A)・・・WEB
1-PL 140.5x 19x 255 (SM400A)・・・FLG
1-PL 140.5x 19x 1110 (SM400A)・・・FLG
1-PL 140.5x 19x 1170 (SM400A)・・・FLG
1-PL 140.5x 19x 400 (SM400A)・・・FLG
1-PL 140.5x 19x 282 (SM400A)・・・FLG
1-PL 140.5x 19x 2710 (SM400A)・・・FLG
1-PL 290 x 19x 175 (SM400A)・・・FLG
1-PL 290 x 19x 2630 (SM400A)・・・FLG
22-BN M22 x 70 (S10T)・・・WEB
39-BN M22 x100 (S10T)・・・FLG

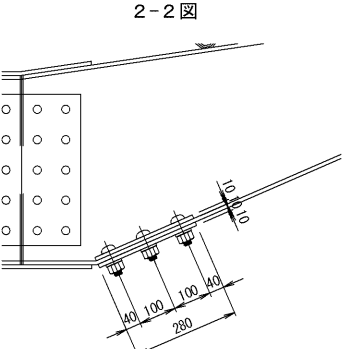
③部断面図 S=1:20



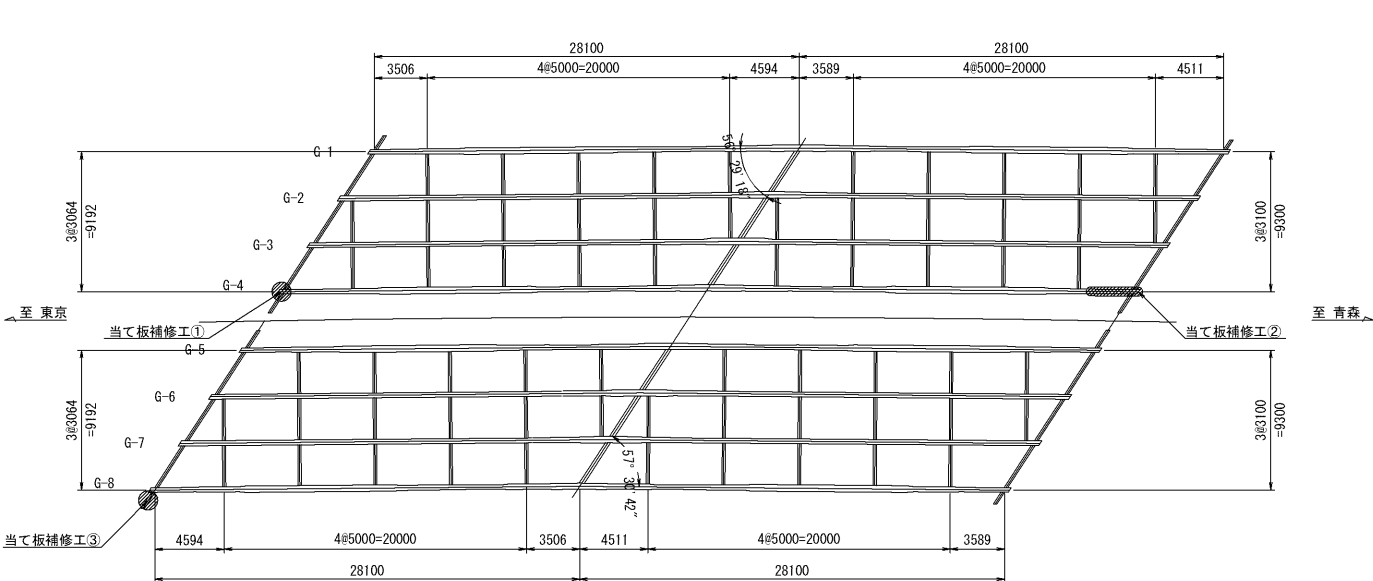
③部平面図 S=1:20



③部側面図 S=1:20



位置図 S=1:500



使用部材重量表

箇所	種別	仕様	材質	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	NET	1個当たりの 質量 (kg/個)	数量	質 量 (kg)
①	PL	200x9x300	SS400	14.130	0.300	—	4.239	1	4.239
	PL	200x9x280	SS400	14.130	0.280	—	3.956	1	3.956
	BN	M22x70(S10T)	—	—	—	—	0.523	6	3.138
	当て板補修工①計								11.333
②	PL	120x9x255	SM400A	8.478	0.255	—	2.162	1	2.162
	PL	120x9x1110	SM400A	8.478	1.110	—	9.411	1	9.411
	PL	120x9x1170	SM400A	8.478	1.170	—	9.919	1	9.919
	PL	120x9x400	SM400A	8.478	0.400	—	3.391	1	3.391
	PL	120x9x276	SM400A	8.478	0.276	—	2.340	1	2.340
	PL	120x9x2710	SM400A	8.478	2.710	—	22.975	1	22.975
	PL	140.5x19x255	SM400A	20.963	0.255	—	5.346	1	5.346
	PL	140.5x19x1110	SM400A	20.963	1.110	—	23.269	1	23.269
	PL	140.5x19x1170	SM400A	20.963	1.170	—	24.527	1	24.527
	PL	140.5x19x400	SM400A	20.963	0.400	—	8.385	1	8.385
	PL	140.5x19x282	SM400A	20.963	0.282	83%	4.907	1	4.907
	PL	140.5x19x2710	SM400A	20.963	2.710	—	56.810	1	56.810
	PL	290x19x175	SM400A	43.268	0.175	86%	6.512	1	6.512
	PL	290x19x2630	SM400A	43.268	2.630	—	113.795	1	113.795
	BN	M22x70(S10T)	—	—	—	—	0.523	22	11.506
	BN	M22x100(S10T)	—	—	—	—	0.613	39	23.907
当て板補修工②計									329.162
③	PL	95x10x280	SS400	7.458	0.280	—	2.088	2	4.176
	BN	M22x70(S10T)	—	—	—	—	0.523	3	1.569
当て板補修工③計									5.745
当て板補修工計									346.240

数量表 当て板補修工B

工 程	仕 様	単位	数量				備 考
			①部	②部	③部	合計	
当て板補修工	図示	kg	11.3	329.2	5.7	346.2	
現場孔明工	t=9mm	箇所	6	22	0	28	
	t=10mm	箇所	0	0	3	3	
	t=19mm	箇所	0	39	0	39	
	合計	箇所	6	61	3	70	
塗膜除去工	塗膜剥離剤	m2	0.1	2.4	0.1	2.6	
素地調整工	2種ケレン相当	m2	0.1	2.4	0.1	2.6	
	金属パテ	L	0.0	6.9	0.1	7.0	
塗装工	g-3	m2	0.2	3.0	0.1	3.3	
シール工	弾性シール材	L	0.1	0.8	0.1	1.0	

注記)

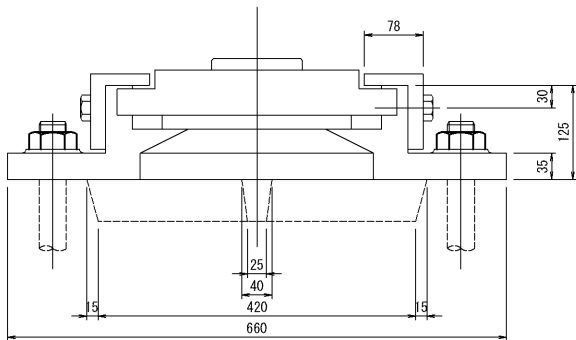
- 補修工事に先立って、必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 補修工事の実施にあたり、寸法等については、詳細な現地計測を行い確認すること。
- 特記なき鋼部材のボルト孔はφ24.5を示す。

東北自動車道 松ノ木沢橋地1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 当て板補修工図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

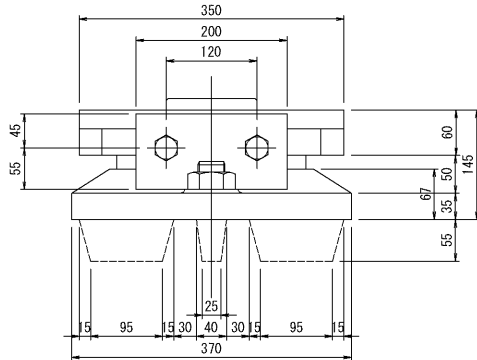
岩堰橋 支承部補修工図(1)

支承詳細図(反力75ton・可動)

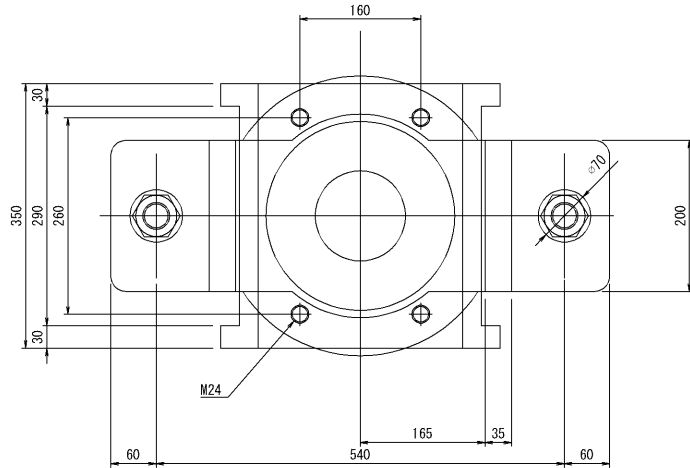
正面図 S=1:10



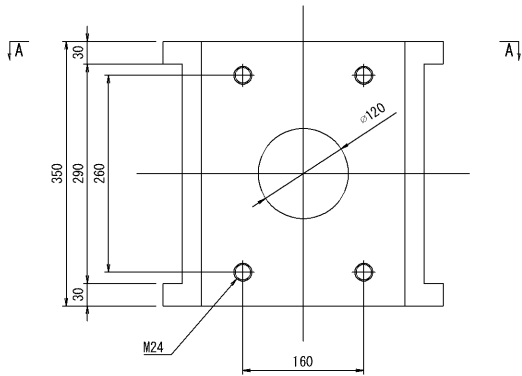
側面図 S=1:10



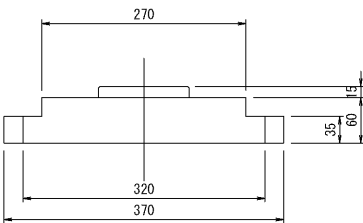
平面図 S=1:10



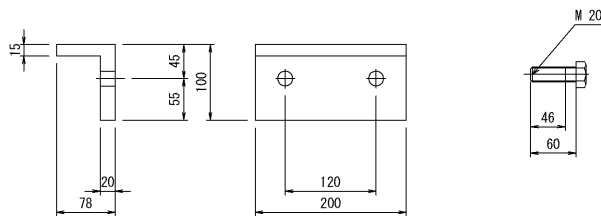
上沓詳細図 S=1:10



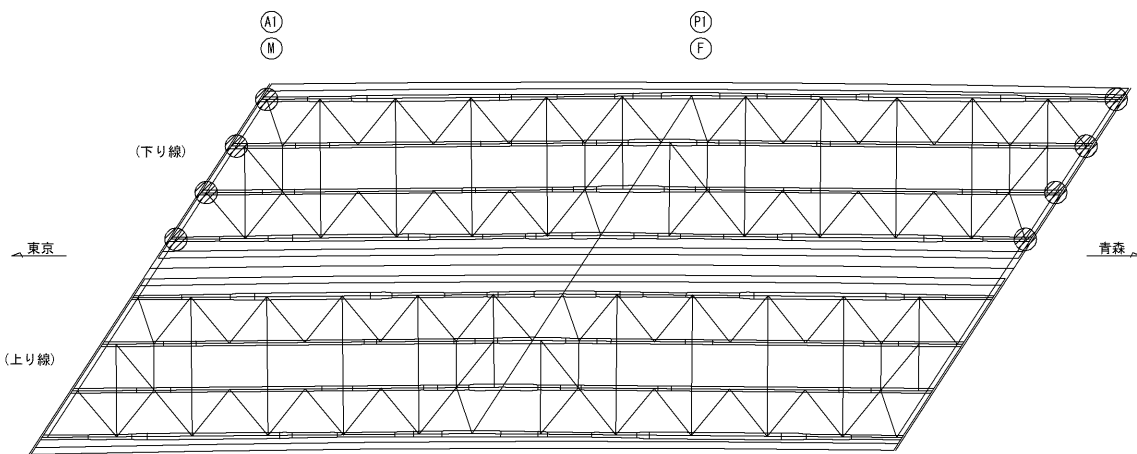
A-A断面図 S=1:10



サイドブロック詳細図 S=1:10

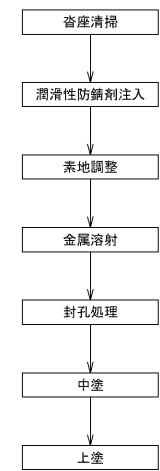


位置図 S=1:500



● 支承防錆工(可動側・75ton)

施工フロー (参考)



数量表(支承部補修工)

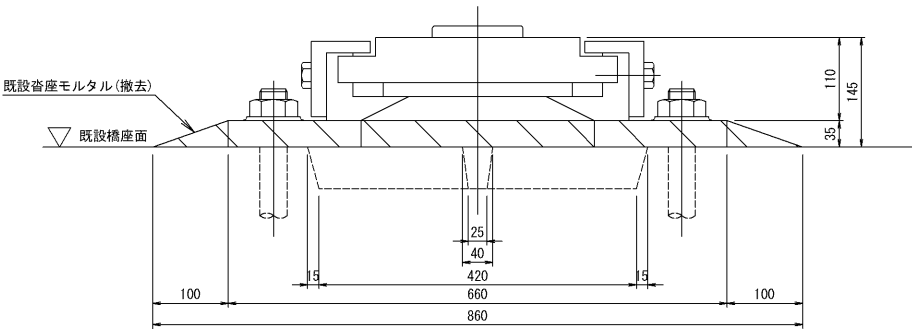
種 別	細 別	規 格	単 位	数 量				合 計	摘 要
				A1 上り線	A1 下り線	A2 上り線	A2 下り線		
支承防錆A	BP-A支承	可動(反力:75t)	基	0	4	0	4	8	

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 支承部補修工図(1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

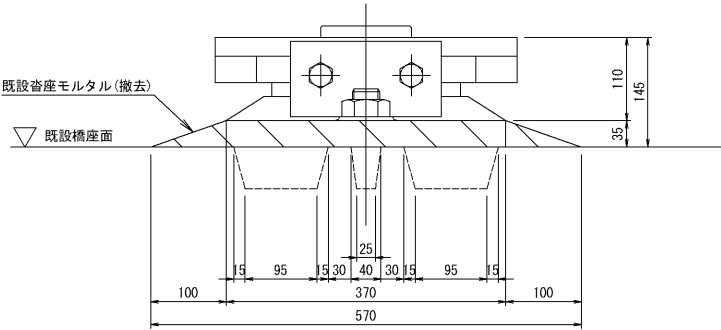
岩堰橋 支承部補修工図(2)

沓座モルタル撤去図(反力75ton・可動)

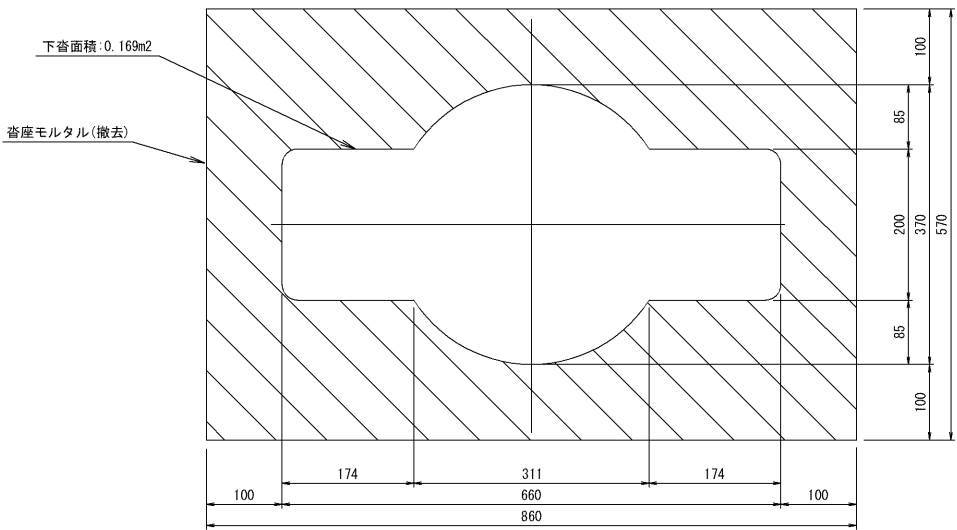
正面図 S=1:10



側面図 S=1:10

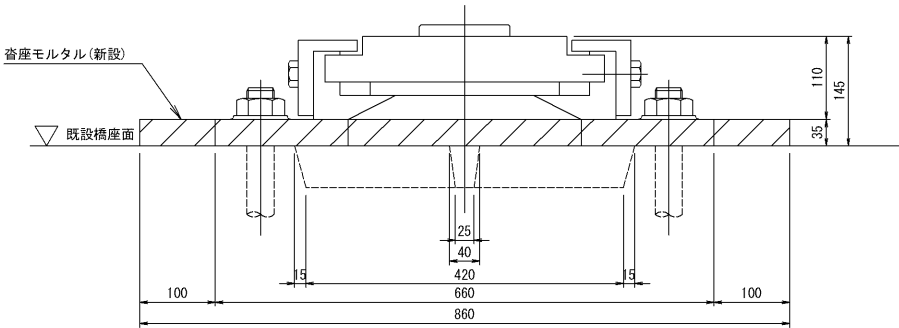


平面図 S=1:10

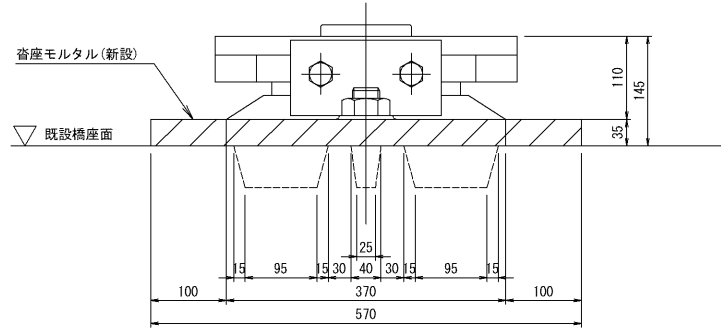


沓座モルタル新設図(反力75ton・可動)

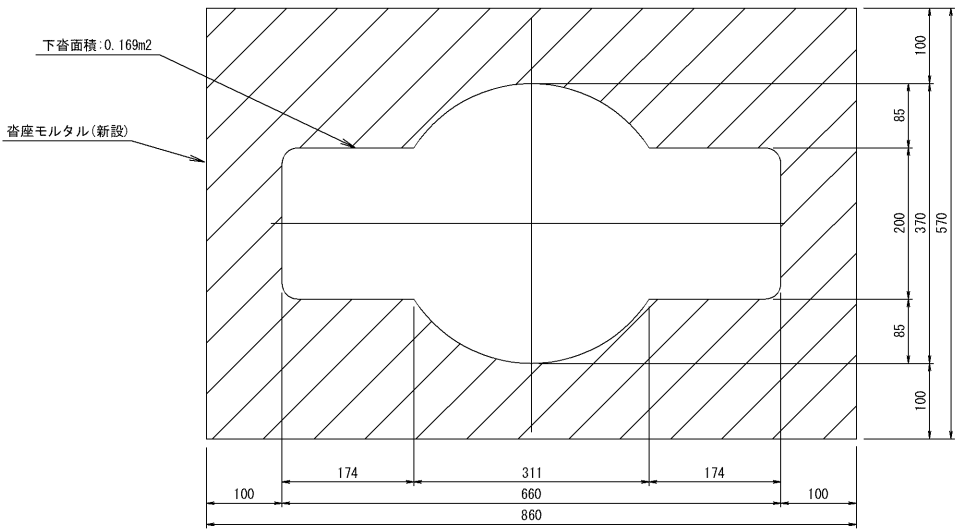
正面図 S=1:10



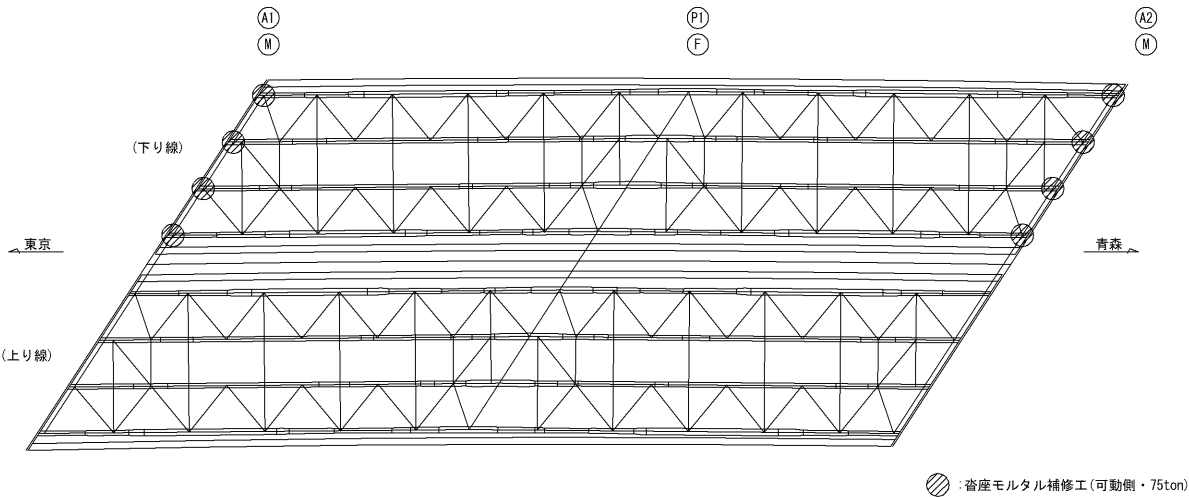
側面図 S=1:10



平面図 S=1:10



位置図 S=1:500



数量表(支承部補修工)

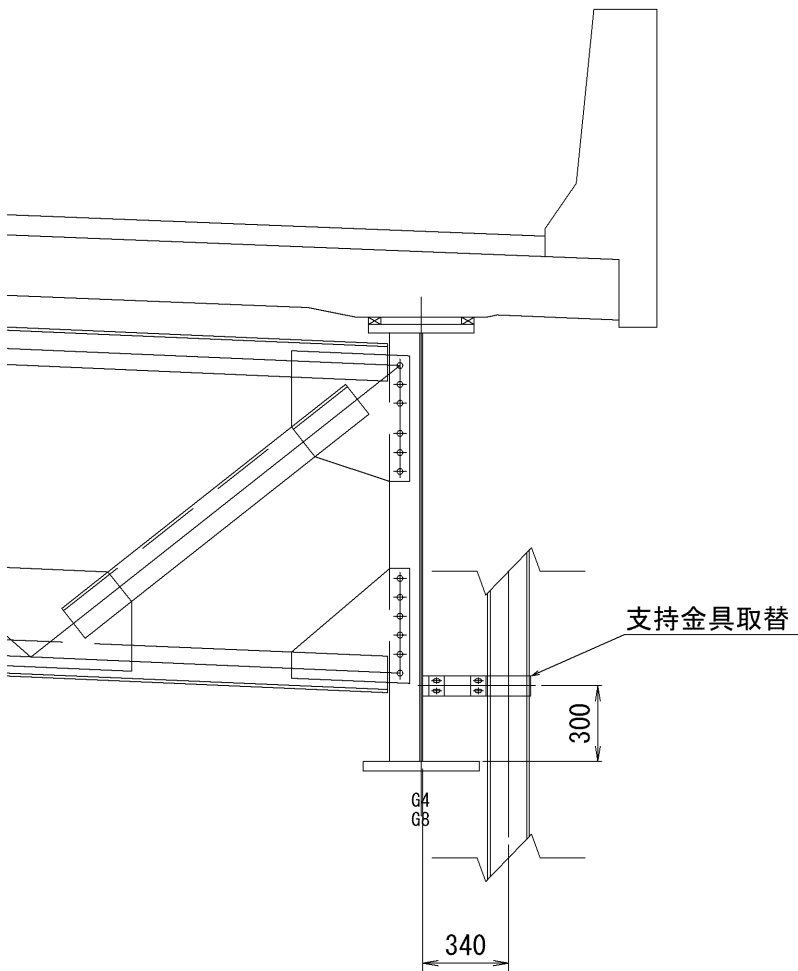
	種 別	規 格	単 位	数 量					摘 要
				A1		A2		計	
				上り線	下り線	上り線	下り線		
沓座モルタル	補修箇所		箇所	0	4	0	4	8	
	沓座モルタル(撤去)	既設沓座モルタル	m3	0.000	0.027	0.000	0.027	0.054	
	型わく	型わくD	m2	0.0	0.5	0.0	0.5	1.0	
	沓座モルタル(新設)	無収縮モルタル	m3	0.000	0.045	0.000	0.045	0.090	

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 支承部補修工図(2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

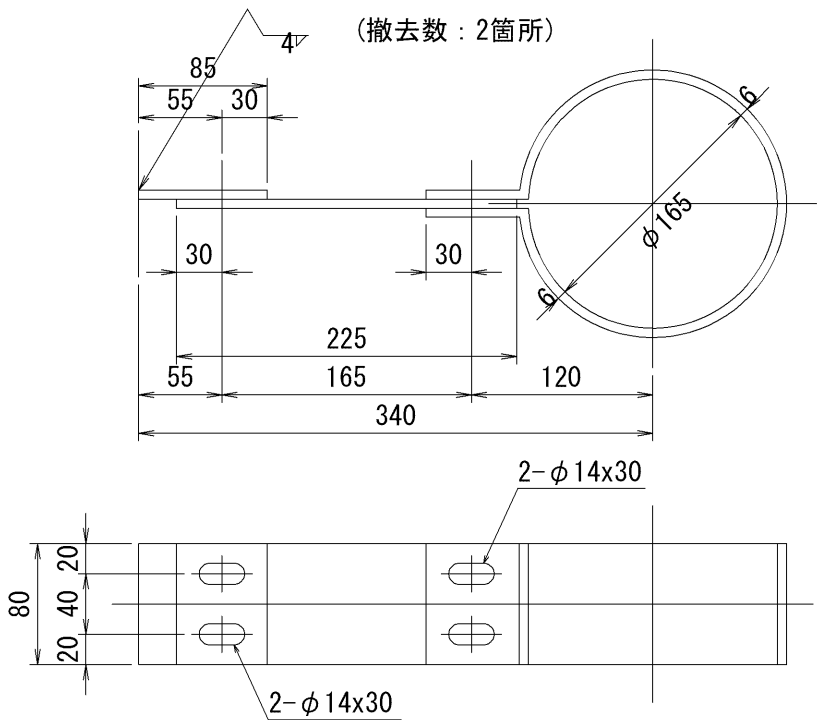
岩堰橋 排水装置取替図

排水管支持金具取替

支持金具取替位置図 S=1:30

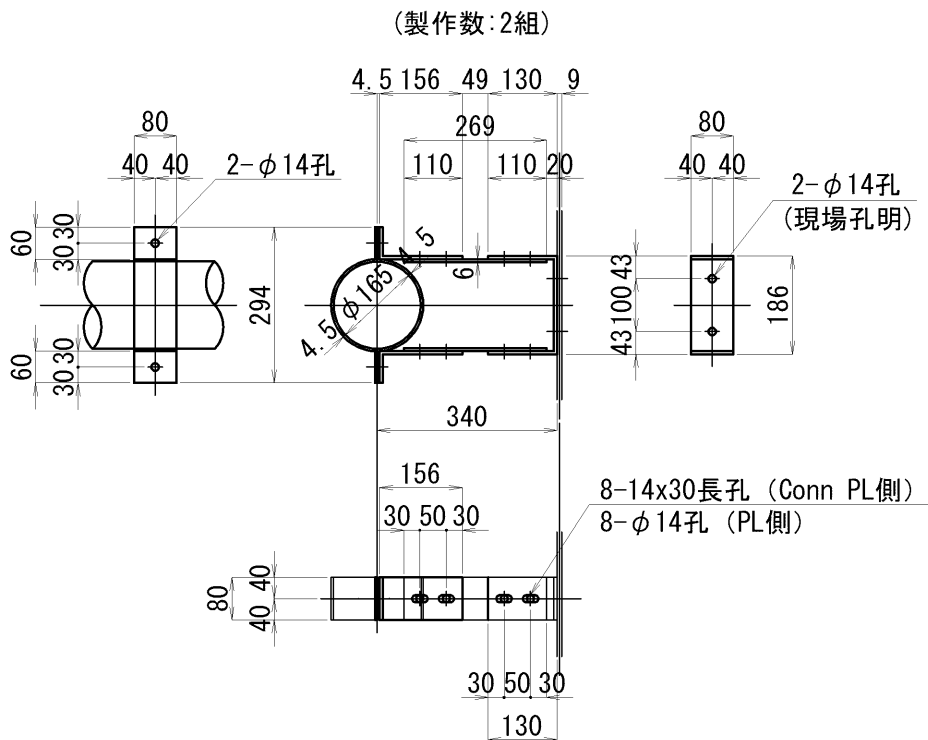


撤去部材詳細図 S=1:5



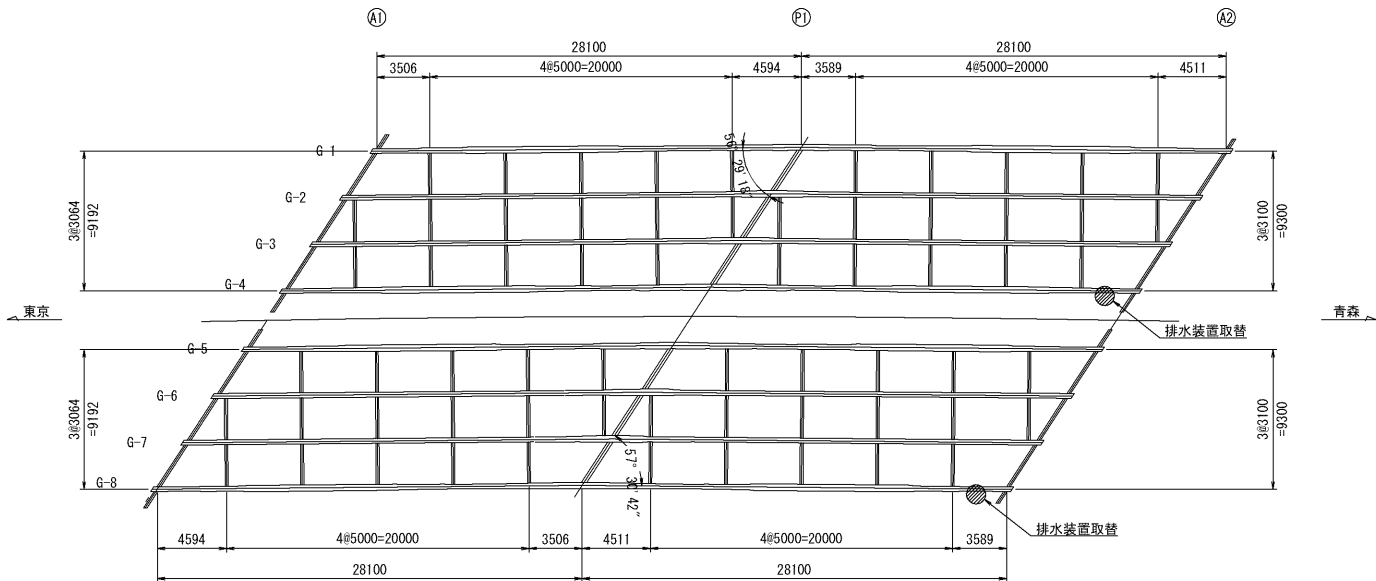
- 部材表(1箇所当り)
- 1-PL 80x6x85 (SM400A)
 - 1-PL 80x6x225 (SS400)
 - 1-PL 80x6x655 (SS400)
 - 4-BN M12x40

新設部材詳細図 S=1:15



- 1組当り数量
- 2-PL 80x4.5x386 (SS400)
 - 2-PL 80x6x210 (SS400)
 - 2-PL 80x6x269 (SS400)
 - 1-PL 80x6x434 (SS400)
 - 12-BN M12x45 (2-W, 1-SW付)

位置図 S=1:500



撤去部材数量表(排水装置取替 排水管 A 支持金具)

部位	種別	仕 様	材 質	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当たりの 質量 (kg/個)	数量		質量 (kg)		合計質量 (kg)
							上り線	下り線	上り線	下り線	
支持金具	PL	80x6x85	SM400A	3.768	0.085	0.320	1	1	0.3	0.3	0.6
	PL	80x6x225	SS400	3.768	0.225	0.848	1	1	0.8	0.8	1.6
	PL	80x6x655	SS400	3.768	0.655	2.468	1	1	2.5	2.5	5.0
ボルト・ナット	BN	M12x40		—	—	0.077	4	4	0.3	0.3	0.6
撤去数量合計							Σ W		3.9	3.9	7.8

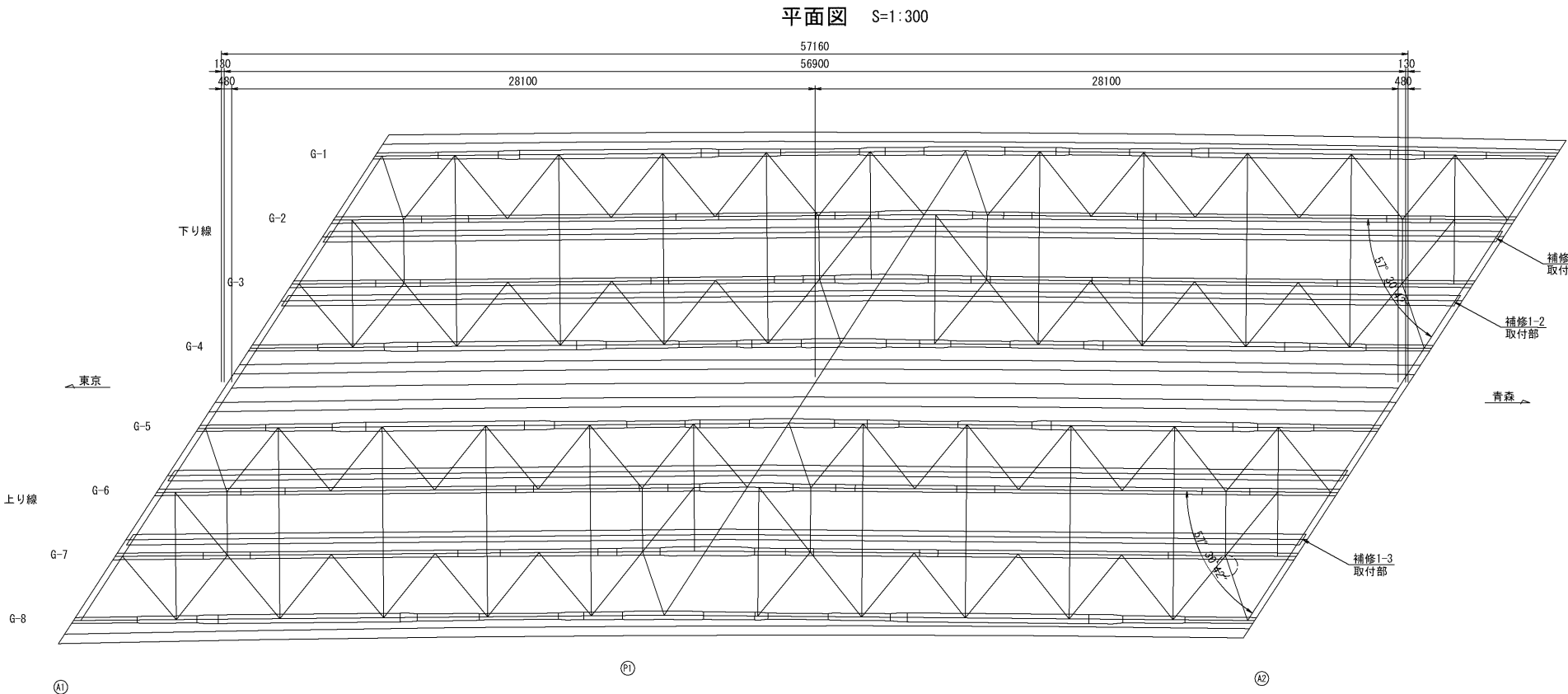
設置部材数量表(排水装置取替 排水管 A 支持金具)

部位	種別	仕 様	材 質	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当たりの 質量 (kg/個)	数量		質量 (kg)		合計質量 (kg)
							上り線	下り線	上り線	下り線	
支持金具	PL	80x4.5x386	SS400	2.826	0.386	1.091	2	2	2.2	2.2	4.4
	PL	80x6x210	SS400	3.768	0.210	0.791	2	2	1.6	1.6	3.2
	PL	80x6x269	SS400	3.768	0.269	1.014	2	2	2.0	2.0	4.0
	PL	80x6x434	SS400	3.768	0.434	1.635	1	1	1.6	1.6	3.2
ボルト・ナット	BN	M12x45 (2-W, 1-SW付)		—	—	0.085	12	12	1.0	1.0	2.0
設置数量合計							Σ W		8.4	8.4	16.8

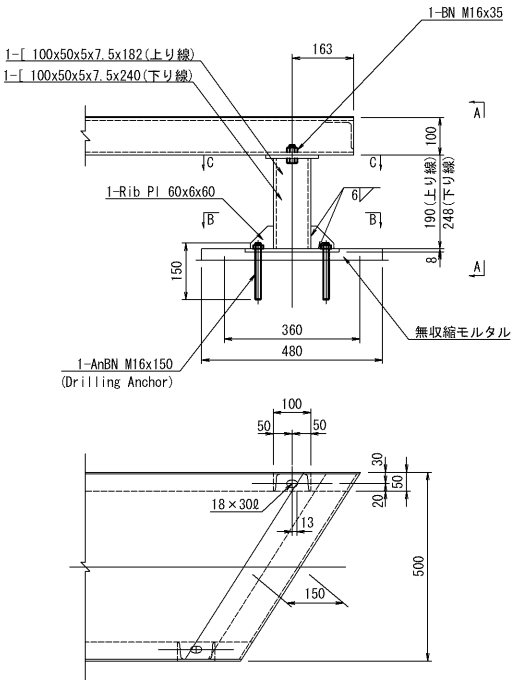
- 注記
- 本図面は、竣工図をもとに作成した図面である。
 - 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
 - 現地との相違が生じた場合には発注者と協議の上、適切な対応をとること。
 - 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
重鉛の付着量は JIS H 8641 HDZT77とする。
板厚3.2mm未満の部材、ボルト・ナット類はJIS H 8641 HDZT49 とする。
 - 既設部材を切断・溶接した箇所は仕上げを行い、高濃度亜鉛未塗料で防錆処理を行うこと。
 - 新設ナットは、全て緩み止め機能付きとする。

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 排水装置取替図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

岩堰橋 検査路取替一般図

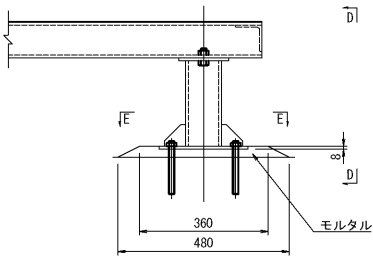


補修1-1～3 S=1:20
(部材取替:3箇所)

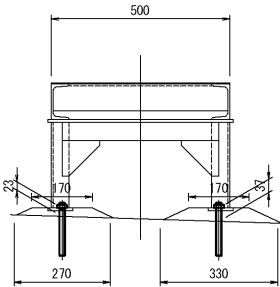


台座モルタル撤去図 S=1:20
(撤去箇所:3箇所)

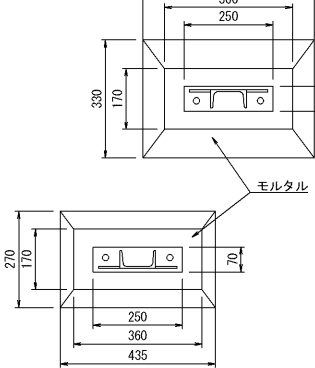
側面図



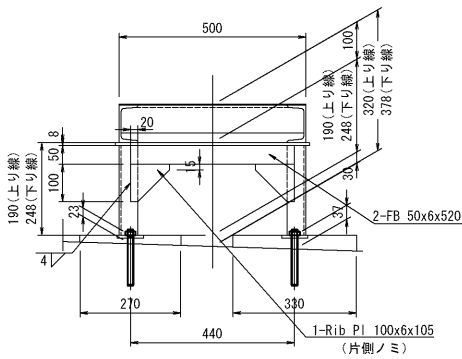
D-D



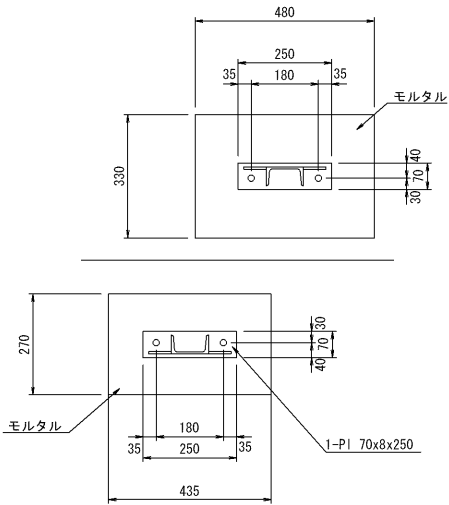
E-E



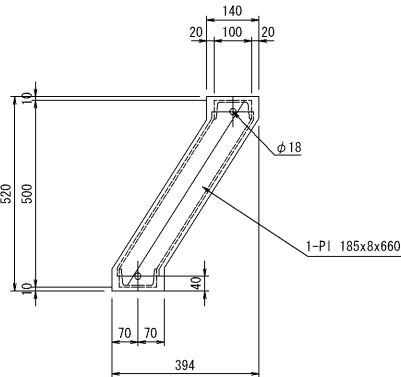
A-A



B-B



C-C



数量表

項 目	N (枚)	重量 (kg)
1-[100x50x5x7.5x182	2	3.40
1-[100x50x5x7.5x240	4	9.00
1-Rib Pl 60x6x60 (NET0.7)	12	1.44
1-FB 50x6x520	6	7.38
1-Rib Pl 100x6x105 (NET0.7)	6	2.10
1-Pi 70x8x250	6	6.60
1-Pi 185x8x660	3	23.01
1-BN M16x35	6	0.78
1-AnBN M16x150	12	3.36

参考重量 (1部材当たり)

1-[100x50x5x7.5x182	: 1.70kg
1-[100x50x5x7.5x240	: 2.25kg
1-Rib Pl 60x6x60 (NET0.7)	: 0.12kg
1-FB 50x6x520	: 1.23kg
1-Rib Pl 100x6x105 (NET0.7)	: 0.35kg
1-Pi 70x8x250	: 1.10kg
1-Pi 185x8x660	: 7.67kg
1-BN M16x35	: 0.13kg
1-AnBN M16x150	: 0.28kg

数量表 (検査路取替 検査路A 支持金具)

項目	種別	仕様	単位	A1		A2		合計
				上り線	下り線	上り線	下り線	
検査路取替	検査路A 支持金具	SS400	kg	0.0	0.0	18.3	38.8	57.1

数量表 (検査路取替 台座モルタル)

項目	種別	単位	A1		A2		合計	摘要
			上り線	下り線	上り線	下り線		
台座モルタル	撤去工	m3	0.000	0.000	0.006	0.012	0.018	
	一般型わく	m2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.3	
	無収縮モルタル	m3	0.000	0.000	0.009	0.017	0.026	

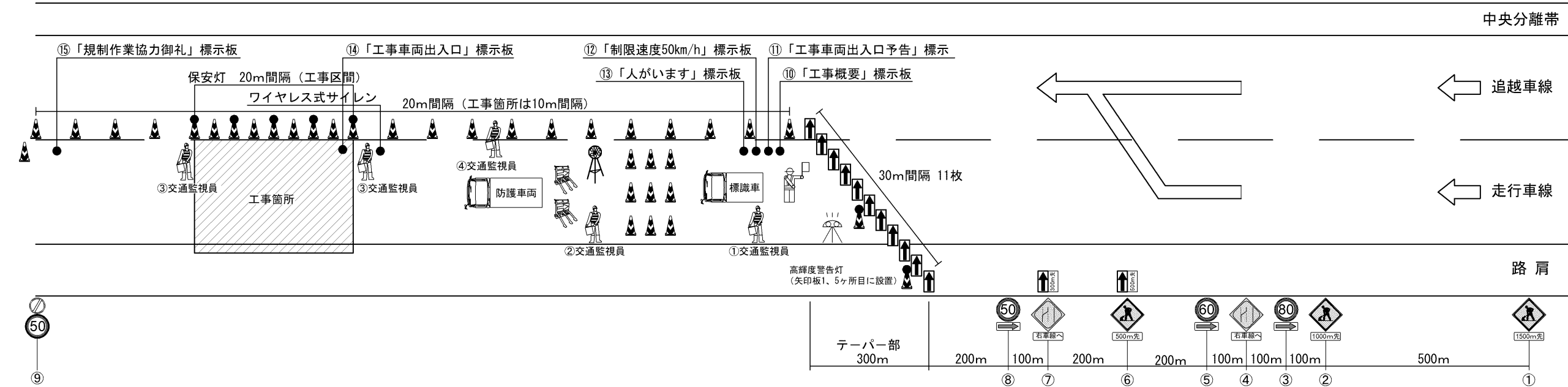
- 注記
1. 本図面は、竣工図をもとに作成した図面である。
 2. 補修工事の実施にあたり、寸法等については詳細な現地計測を行い確認すること。
 3. 現地との相違が生じた場合には発注者と協議の上、適切な対応をとること。
 4. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 5. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H8641 HDZT77とする。
板厚3.2mm未満の部材、手摺パイプ・ボルト・ナット類はJIS H 8641 HDZT49 とする。
 6. 新設ナットは、全て緩み止め機能付きとする。
 7. 既設部材を切断・削孔した箇所は仕上げを行い、高濃度亜鉛未塗料で防錆処理を行うこと。

東北自動車道 松ノ木沢橋他1橋補修工事			
図面の種類	岩堰橋 検査路取替一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社福山コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 北上管理事務所		

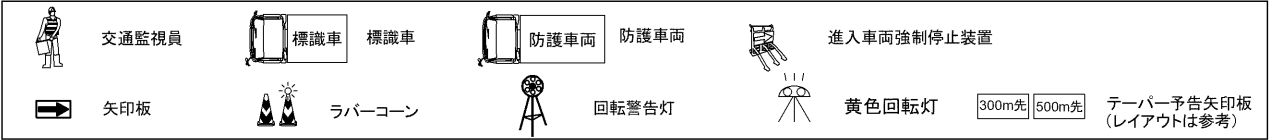
交通規制工

交通規制図

(規制速度100・120km/hr 区間)



凡例



交通保安要員(工事稼働時)

項目	配置場所	人数	休憩時間 における 交代要員※2
①	交通監視員	テーパー部	1名
②	交通監視員	規制内巡回	1名
③	交通監視員	施工箇所	2名
④	交通監視員	工事車両入口	1名

※2 積算上の明示であり指定ではない。

規制機材等区分表

規制機材等	規格・種類	設置箇所	区分		標識等 安全施設	備考
			貸与	受注者		
標識車	NEXCO貸与(2t)	規制起点部	○			
ロボット誘導員		規制先端部	○			
ラバーコーン		規制区間20m間隔	○			
規制標識		図中番号③⑤⑧⑨	○			
警戒標識		図中番号①②④⑥⑦	○			
黄色回転灯		規制先端部	○			
高輝度警告灯		テーパー部ラバーコーン上に設置		○		
工事規制警戒標識用ブラケット		工事規制警戒標識設置箇所		○		18個
矢印板	高輝度反射式または自発光式	テーパー部、テーパー手前部		○		
テーパー予告矢印板	高輝度反射式または自発光式	テーパー手前部		○		
矢印板用ウェイト		矢印板設置箇所		○		30個
ワイヤレス式サイレン	遠隔操作式サイレンボックス	工事箇所		○		
防護車両	現場乗入車両2t車程度	工事箇所上流部		○		
保安灯	昼点滅可能タイプ	工事箇所20m間隔、ラバーコーン上に設置		○	○	
進入車両強制停止装置		工事箇所上流部		○	○	
回転警告灯		規制先端部		○	○	
「工事概要」標示板	W1100×H1400	図中番号⑩		○	○	
「工事車両出入口予告」標示板	W550×H1500	図中番号⑪		○	○	
「制限速度50km/h」標示板	W550×H1500	図中番号⑫		○	○	
「人がいます」標示板	W550×H1500	図中番号⑬		○	○	
「工事車両出入口」標示板	W550×H1500	図中番号⑭		○	○	
「規制作業協力御礼」標示板	W550×H1500	図中番号⑮		○	○	